



KYMCO

AK 550

The Thrills of Touring

**Owner's
Manual**

使用者の皆様へ：

KYMCOAK 550 シリーズをお買い上げくださり、誠にありがとうございます。

本取扱説明書は、KYMCOAK 550 シリーズ製品を長期的かつ安全にご使用いただくため、正確な操作方法、メンテナンスおよび調整方法、その要領などを詳細に説明したものです。本モデルは、車両環境保護法規の排気規制基準に適合しており、低汚染、低騒音、省エネの環境保護要求を満たすものです。本製品は優れた品質を有しますが、最良の性能を維持するため、定期的なメンテナンスが必要です。

安全かつ快適な走行のため、本マニュアルを注意深くお読みください。

目次

1 安全運転に関する注意事項.....	4	駐車ブレーキアーム.....	32
2 所有者情報	7	ヘルメットホルダー	33
識別番号記録欄.....	7	トランク	34
3 各部の名称	9	ウインドシールド.....	36
バイクを左から見た図.....	9	バックミラー.....	38
バイクを右から見た図.....	10	USB コンセント	38
メーター及び制御メカニズム	11	バックレスト.....	39
4 構造制御機能	12	センタースタンド.....	40
液晶メーター機能.....	12	サイドスタンド.....	41
液晶メーター調整エリア	12	TPMS 電子式タイヤ空気圧検出器.....	43
液晶メーター表示エリア.....	14	ABS (アンチロックブレーキシステム)	46
NOODOE システムの使用方法	15	O ² センサー.....	48
NOODOE 作成アップロード機能をご覧ください。	15	マフラー及び触媒コンバーター	49
KEYLESS リモコン	21	排気ガス制御システム	49
KEYLESS センサーの距離.....	23	5 正しい乗り方	50
KEYLESS イグニッション.....	23	エンジンの始動.....	50
右ハンドルスイッチ.....	26	正しい乗り方.....	52
左ハンドルスイッチ	28	ブレーキ.....	54
リヤブレーキレバー.....	31	6 走行前の点検	58
フロントブレーキレバー	32	走行前に点検する習慣を身に付けましょう	58
		エンジンオイルとオイルフィルターエレメント	58
		エンジンオイルの点検、補給.....	58
		ガソリンの点検と補給.....	59

ハンドルの点検	60
ブレーキの点検と調整	60
前部ブレーキオイルの点検	61
前部ブレーキオイルの補充	61
前・後輪ブレーキライニングの点検	62
タイヤの点検	62
リアランプの点検	64
ヘッドライトの点検	64
ウインカーの点検	65
前後緩衝装置の点検	66
サイドスタンド	67
7 簡単なメンテナンスと修理	67
定期点検	67
バッテリー点検	69
エアフィルター	72
CVT システム用フィルター	73
オイル交換	74
スパークプラグの点検と調整	76
冷却水の点検	77
二輪を廃棄する	79
諸元	80
AK 550 – SAA1AA, SAA1AC	80
無線適合	81

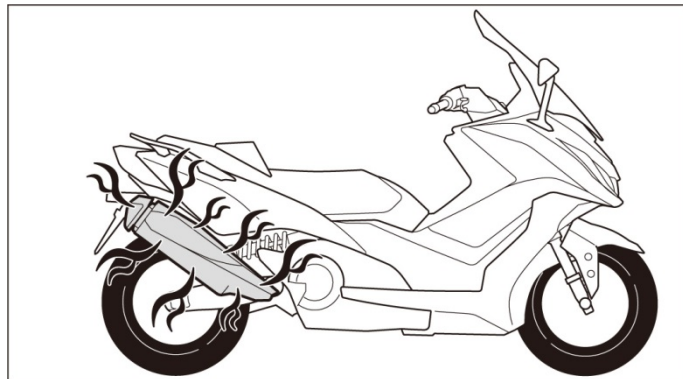
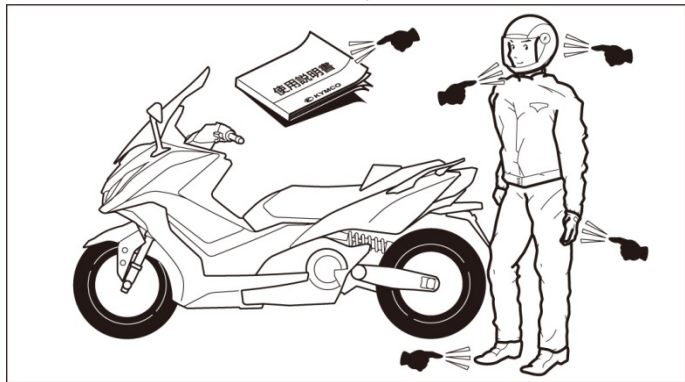


本マニュアルの内容は、実際の車両と異なる場合があります。

1 安全運転に関する注意事項

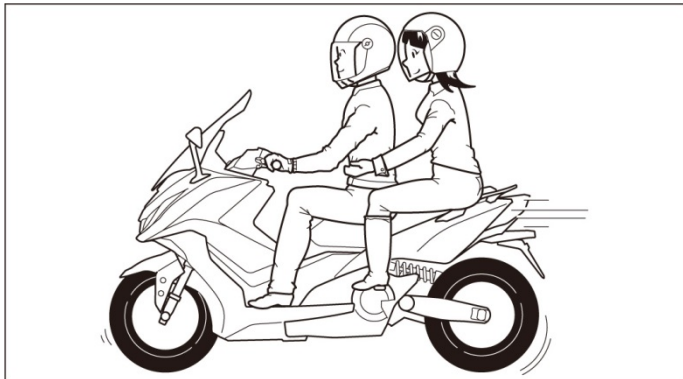
安全運転に関する注意事項

- ◆ 取扱説明書と注意事項をよくお読みください。
- ◆ 運転者はヘルメット、グローブ、ゴーグルなどを着用してください。
- ◆ 運転者の安全を妨げるような服装は避けてください。
- ◆ 袖口が広すぎると、ブレーキレバーに引っかかることがあり非常に危険です。
- ◆ ブレーキレバーの操作の妨げになる状態を避けてください。
- ◆ 日頃の点検定期点検を心がけてください。
- ◆ タイヤ表面に異物はないか、異常な摩耗はないか目視にて点検してください。
- ◆ マフラーから排出される排気には体に有毒な一酸化炭素が含まれています。
- ◆ 通気の良い場所でエンジンを始動します。
- ◆ ヘルメットをかぶる際にバンドをしっかり締めてください。
- ◆ 運転時には両手でハンドルをしっかり握り、片手運転は絶対にしないでください。
- ◆ 平底の靴を着用した方が安全です。

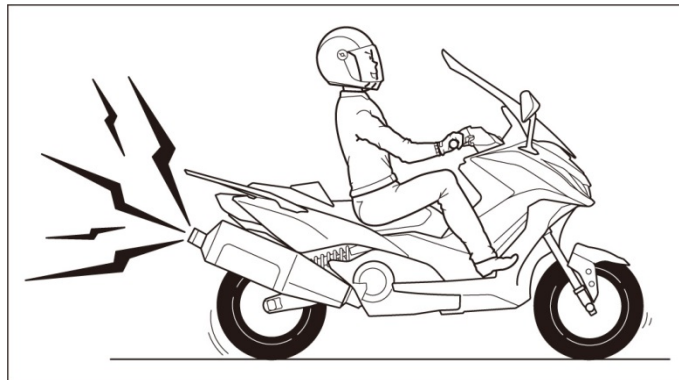


- ◆ エンジン停止の後、エンジン本体とマフラーは非常に高温になっていますので、触れないようにしてください。
- ◆ 駐車する際は、枯れ草や可燃物の近くを避けてください。
- ◆ エンジン停止時にマフラーは非常に高温になっています。駐車の際にはマフラーを壁や人のいない方に向けてなどして事故が生じないようにしてください。
- ◆ 車両の金属又はプラスチック部品は、直射日光に晒されると高温になります。表面に触れたり触ったりしますとやけどをする恐れがありますので、運転者は特にお気をつけください。
- ◆ 急な方向転換や片手運転はおやめください。
- ◆ 道路交通規則を遵守してください。
- ◆ 給油時は火気厳禁とします。
- ◆ 給油時にはエンジンを止めてください。
- ◆ マフラーは高温になりますので、後部にお乗りの方は上下車時のやけどにお気を付けてください。
- ◆ 積載物がある時とない時ではハンドル操作の安全性が異なります。

- ◆ 運転時は両手でグリップをしっかり握り、両足はステップに置きます。同乗者は両手を運転者の腰をしっかりつかみ、両足は必ず後方のペダルに置いてください。



- ◆ 積載物の制限を超えることがないようにしてください。積載物はしっかり固定し、安全に注意して走行してください。
- ◆ 車両の構造と機能は密接に関係しているため、改造は操作性、寿命、運転の安全性に悪影響を及ぼします。
- ◆ 法律では改造を許可していません。違法行為である改造を行わないでください。
- ◆ 改造した車両には保証が適用されなくなります。

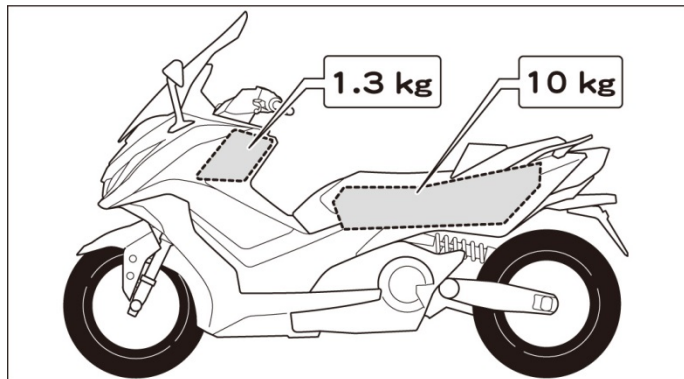


◎ Attention

- ◆ 快適な服装でゆったり運転することが安全の秘訣です。
- ◆ 交通規則を守り、急がず、焦らず、安全運転を心がけてください。
- ◆ バイクに乗る際は、危険防止のため、運転の安全を妨げる服装は避けてください。（ロングスカートや裾の長いズボンなど）。
- ◆ 走行中または走行後の30分以内は、マフラーが高温になっています。触れないようくれぐれも注意してください。
- ◆ 駐車する際は、枯れ草や可燃物の近くを避けてください。

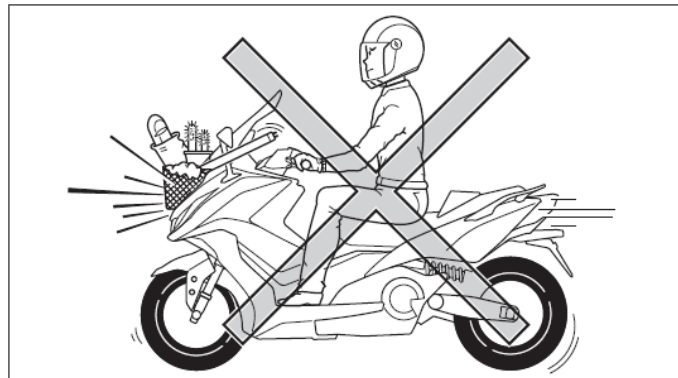
1 安全運転に関する注意事項

フロントポケットの積載物の重量は1.3 kgまでです。
トランクの積載物の重量は10 kgまでです。



以下の積載制限を超えないでください。
フロントポケットの積載物の重量は
1.3 kgまでです
トランクの積載物の重量は
10 kgまでです

前部にかごやラックを取り付けしないでください。前部に荷物を載せるとヘッドライトを遮ったり、荷物の重さが運転に影響したりし、安全な運転に大きな影響を与えることになります。

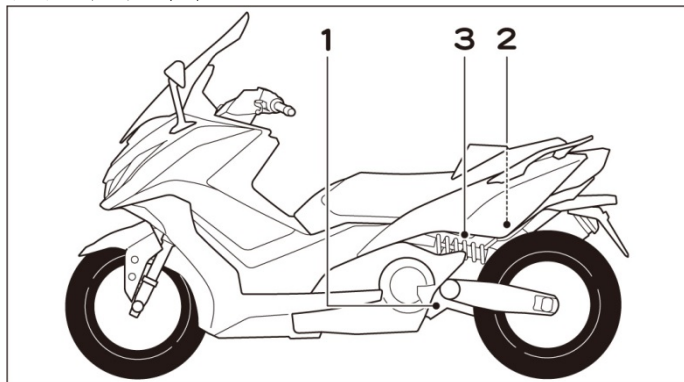


所有者情報

識別番号記録欄

KYMCO 正規販売店に予備用部品を注文したり、バイクが盗難に遭った際の参考にするため、エンジン番号と車体番号を控えておいてください。

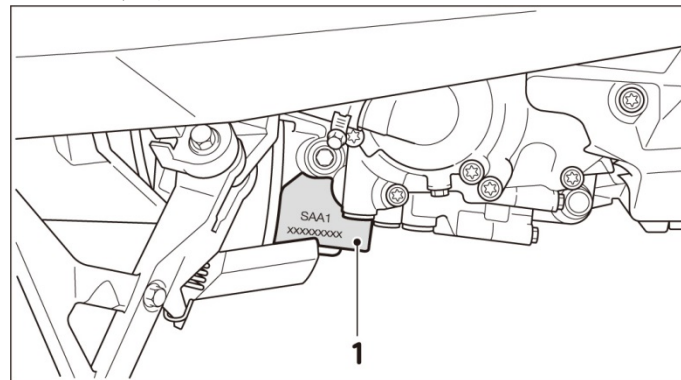
各識別番号の位置：



1：エンジン番号の刻印
3：アルミプレート

2：車体番号の刻印

エンジン番号：

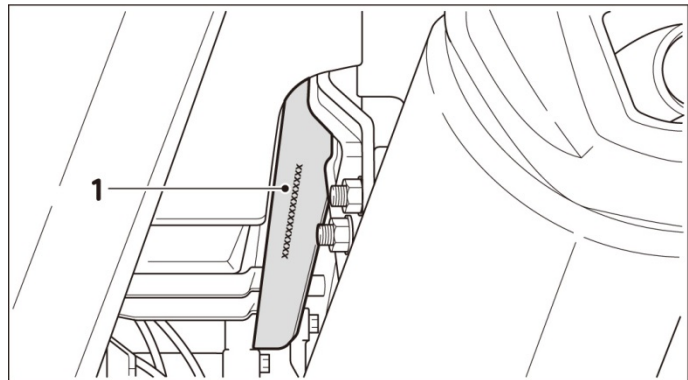


1：エンジン番号の刻印

エンジン番号は図で示したクランクケースに刻印されています。

2 所有者情報

車体番号：

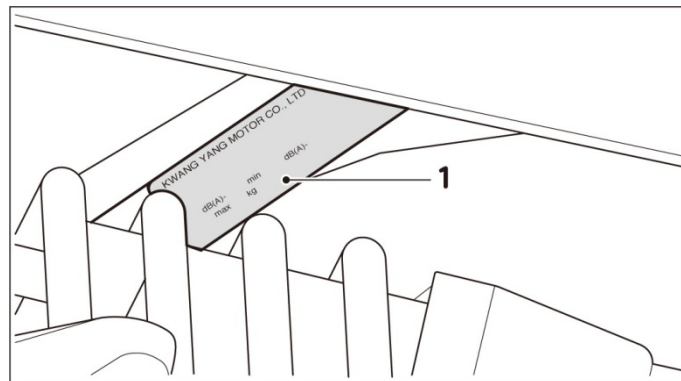


1. 車体番号の刻印

車体番号は図で示したシャーシに刻印されています。シャーシの右下を下から上へ見ると車体番号が見られます。

アルミプレート

ショックアブソーバ後方にアルミプレートが見られます。



1. アルミプレート 2

KWANG YANG MOTOR CO., LTD.

☆ REFBE10000H1100101 ☆

L3e-A3

L3e-A2

e13*168/2013*00121

e13*168/2013*00122

88 dB(A)-3750 min⁻¹

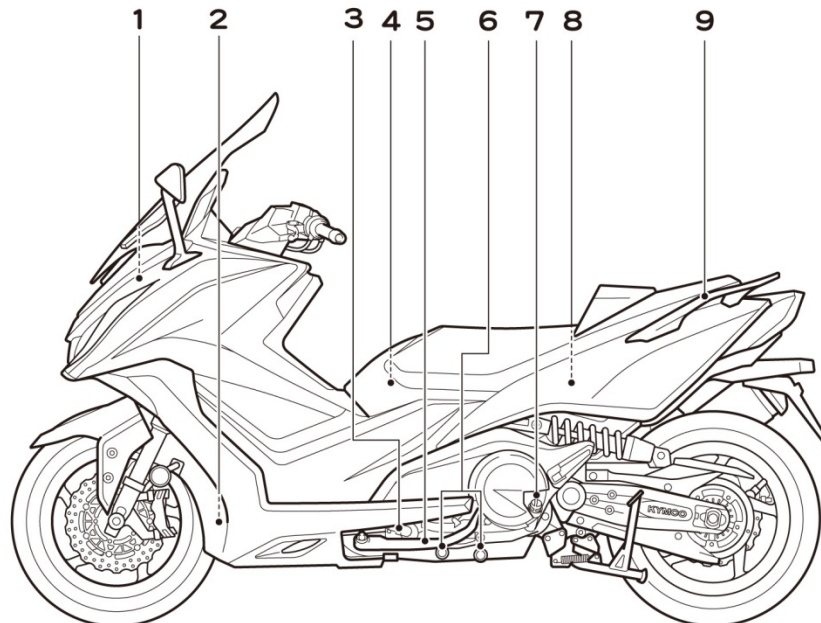
89 dB(A)-3750 min⁻¹

max 395 kg

34.2 kW

各部の名称

バイクを左から見た図



1: バッテリー

2: クーラント液位置点検ウインドウ

3: オイルフィルターのフィルターエレメント

4: ヘルメットホルダー 5: サイドスタンド

6: エンジンオイルドレイン
ボルト

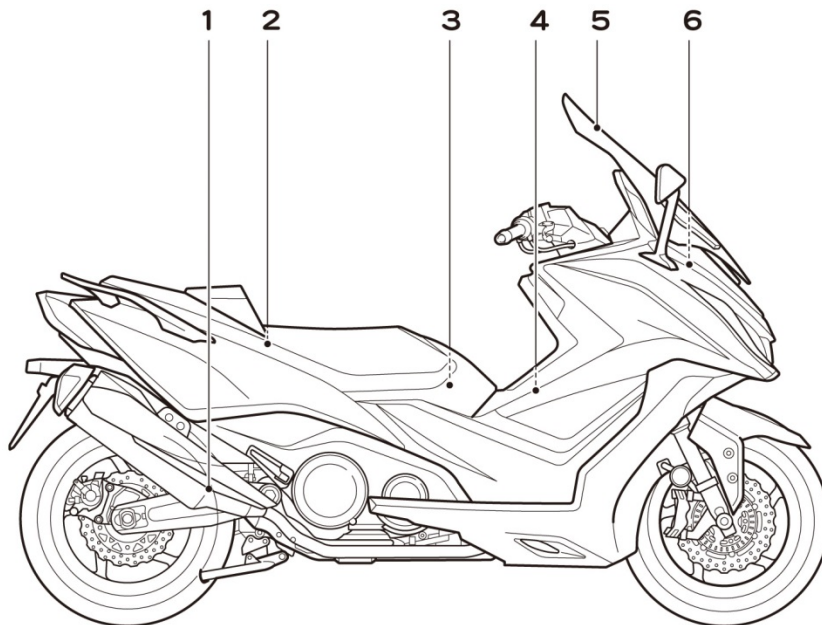
7: オイルゲージ

8: トランク

9: 左後方グリップ

3 各部の名称紹介

バイクを右から見た図



1: センタースタンド

2: 車載ツールキット

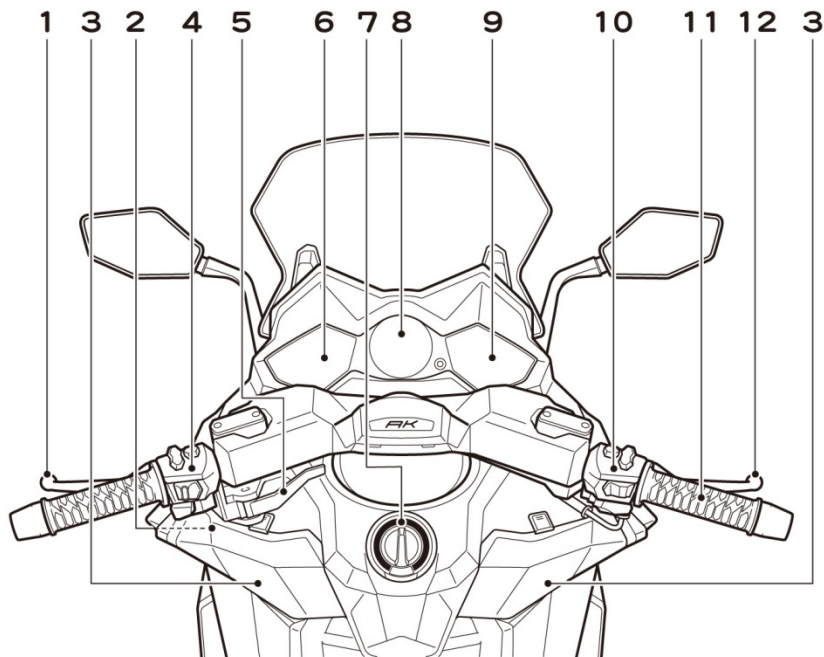
3: ガソリタンクキャップ
カバー

4: エアフィルターエレメント

5: ウインドシールド

6: ヒューズ

メーター及び制御メカニズム



1: 後部ブレーキレバー
6: メーター調整エリア
11: アクセルグリップ

2: USB電源ソケット
7: KEYLESSイグニッション
12: 前部ブレーキレバー

3: フロントポケット
8: noodoe

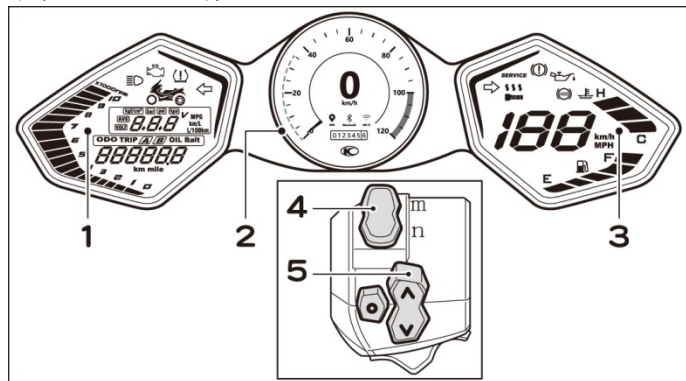
4: 左ハンドルスイッチ
9: メーター表示エリア

5: パーキングブレーキアーム
10: 右ハンドルスイッチ

4 構造制御機能

構造制御機能

液晶メーター機能



- 1 : 調整エリア
- 2 : noodoe
- 3 : 表示エリア
- 4 : noodoeとメーター切り替えボタン
- 5 : noodoeとメーター操作ボタン

Ⓞ Attention

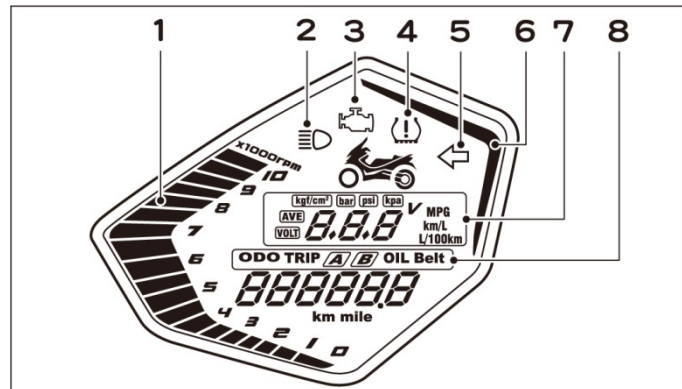
事故の発生を防ぐため、乗車中は設定しないでください。まず安全な場所に停車してから、液晶メーターの設定をおこなってください。

液晶メーター調整エリア

まずハンドルスイッチをメーターコントロールの位置(m)に切り替えます。

m → Meter

n → noodoe



- 1 : タコメーター：エンジンの1分間当たりの回転速度を表し、1メモリは1000回転を表します。
- 2 : ハイビーム指示ランプ：ヘッドライトが現在ハイビームの位置になっていることを表します。
- 3 : エンジン OBD ランプ：KEY ON 後、エンジン OBD ランプは約2秒間点灯した後自動的に消え、車両が正常であることを示します。KEY ON 後、2秒間点灯しないか2秒経っても消えない場合、車両システムの異常を示していますので、KYMCO 正規販売店で点検を受けてください。
- 4 : タイヤチェックランプ：KEY ON 後、タイヤ空気圧が高すぎたり低すぎたりする場合、チェックランプは点灯したままになります。タイヤ空気圧が急激に下がった場合、チェックラ

ンプは速く点滅します。タイヤ空気圧がゆっくり失われる場合、チェックランプはゆっくり点滅します。

- 5: ウィンカー: ウィンカーを操作すると、指示ランプが点滅します。
- 6: モード切り替え: 正常走行時 LED ランプは青色が点灯し、左ハンドルスイッチの MODE ボタンを押すと LED ランプは橙色となり、雨天モードに切り替わります。
- 7: 機能エリア
 - 右ハンドルスイッチ上の m/n ボタンを m に切り替えたとき。
 - 右ハンドルスイッチ上の上(^)ボタンを短く押すと、
 - VOLT (バッテリー電圧) → AVE (平均燃費) → (瞬間燃費) → TPS (タイヤ空気圧) と切り替わります。
 - VOLT → バッテリー電圧の表示
 - AVE → 平均燃費 (AVE) モード、平均燃費の表示 (km/L 及び L/100km)、(TRIP A のリセット後、AVE もリセット)。
 - → 瞬間燃費モード、AVE ランプ消灯、車両の瞬間燃費を表示 (km/L 及び L/100km)。
 - 燃費単位の切り替えは、平均/瞬間燃費状態のときに、右ハンドルスイッチ上の「O」ボタンを短く押すと、km/L → l/100km に切り替えることができます。
 - タイヤ空気圧単位の切り替えは、タイヤ空気圧表示インターフェースのときに、右ハンドルスイッチ上の「O」ボタンを短く押すと、kg/cm² → bar → psi → kpa の順に切り替えることができます。
 - キロ/マイルの切り替えは、ODO 表示インターフェースのときに、右ハンドルスイッチの「O」ボタンを2秒間押すと、キロ/マイル単位表示を切り替えることができます。

◎ Attention

- ◆ メーターをマイル(mile)にした場合、MPG と表示されますが、

これはマイル(mile)/ガロンの省略を意味します。

- ◆ メーターの車両平均燃費又は瞬間燃費は使用者の参考にするのみで、燃費値は実車を基準とします。
- ◆ バッテリーの指示が 12V を下回った場合、バッテリーの充電不足を表しますので、すぐに点検又は充電してください。
- ◆ キロ/マイル単位を切り替える際、メーター内の全ての単位も同時に切り替わります。(タイヤ空気圧単位を除く)

8: マイレージ情報

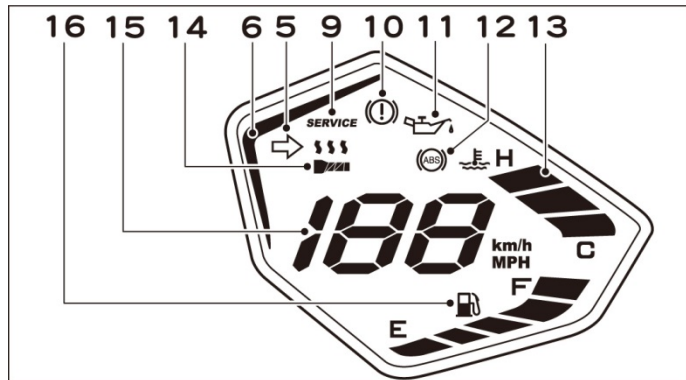
- 右ハンドルスイッチ上の下(v)ボタンを押したとき、
- ODO → TRIP A → TRIP B → OIL → Belt
- ODO → 走行総距離(km)又はマイル(mph)を表示。
- TRIP A/TRIP B → 今回のマイル数で、リセットする場合は「O」ボタンを2秒間長押ししてください。
- OIL → オイル指示ランプ。走行距離が 5,000 キロに達した場合、メーター右側の services 符号が点灯し、オイル点検が必要であることを表示します。
- Belt → ベルト交換指示ランプ。走行距離が 20000 キロに達した場合、メーター右側の services 符号が点灯し、CVT ベルト交換が必要であることを表示します。

◎ Attention

オイル交換インジケーターは 5000 キロ走行すると点灯するため、最初の 300 キロ走行でオイル交換が必要な際にインジケーターは点灯しないため、ご注意ください。点灯しなくてもリセットは可能です。これにより、インジケーターの表示が正確なものに保たれます。

4 構造制御機能

液晶メーター-表示エリア



9：SERVICE 警告灯

- 積算距離が 5000km に達した場合、オイル交換警告灯 (SERVICE 符号) が点灯します。OIL モードに切り替える必要がある場合、累積距離はリセットされ、オイル交換警告灯 (SERVICE 符号) も消灯し、km のマイレージがリセットされ改めて計算しなおします。
- 積算距離が 20000km に達した場合、ベルト交換指示ランプ (SERVICE 符号) が点灯します。リセットする場合は Belt モードに切り替えますが、累積距離はリセットされ、ベルト交換指示ランプ (SERVICE 符号) も消え、km のマイレージがリセットされ改めて計算しなおします。

◎ Attention

◆ オイルインジケータは 5000 キロ走行すると点灯するため、最初の 300 キロ走行でオイル交換が必要な際にインジケータは点灯しないため、ご注意ください。点灯しなくてもリセットは可能です。これにより、インジケータの表示が正確なものに保たれます。

◆ オイル指示ランプは 5,000 キロ走行ごとに点灯します。お近くの KYMCO 正規販売店にてオイル点検をおこなってください。

10： 駐車ブレーキ指示ランプ：このランプが点灯した場合、現在駐車ブレーキはロック中であることを表します。

11： オイル圧力警告灯

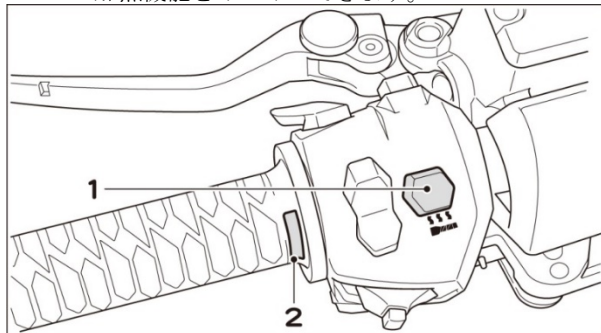
- KEYLESS イグニッションをオンにした場合、オイル圧力警告灯が点灯します。
- エンジン始動後、オイル圧力警告灯は消えます。
- 運転時のエンジンオイル圧力が正常に作動している際に、オイル圧力警告灯が点灯した場合、システムの異常を表していますので、お近くの KYMCO 正規販売店で点検を受けてください。

12： ABS チェックランプ：KEYLESS イグニッションがオンの時、ABS チェックランプがまず点灯し、車速が 6km/h に達した場合、ABS チェックランプは消えます。

◎ Attention

車速が 6km/h 以上にもかかわらず、ABS チェックランプが点灯したままの場合、ABS システムの異常を表していますので、すぐにお近くの KYMCO 正規販売店にて点検を受けてください。

- 13: 水温メーター: 運転中、水温が H(高温位置)に達した場合、水温異常を表しています。車両を安全な場所に止め、エンジンを切り水温が下がってから再点検するとともに冷却液を補充し、再度エンジンを始動し、すぐに KYMCO 正規販売店にて点検又は修理を受けてください。水温が H(高温位置)のまま運転を続けるとエンジンの故障を招きますので、特にお気を付けください。
- 14: ハンドルヒーター: イグニッション ON 後、左ハンドルの加熱スイッチを 3 秒以上長押しすると、ハンドルヒーターの加熱機能をオンオフできます。



1: 加熱ボタン 2: 加熱ハンドル状態指示ランプ

- 15: スピードメーター: 車速は 1 時間当たりのキロ(km/h)又はマイル(mph)を基準とします。(ODO モードにする場合、右手ハンドルの「O」ボタンを 2 秒間長押しするとキロとマイルを切り替えできます。)
- 16: 燃料計: ガソリンタンクの燃料の残量を示します。燃料計の表示が E に近づき残り 1 メモリになった場合、ハイオク/プレミアム 無鉛ガソリンを補充してください(燃料ポンプが空転すると損傷を招きます)。

noodoe システムの使用方法

- ステップ 1 アプリのダウンロード: “noodoe アプリのダウンロード”からダウンロードすると、自動的にインストールされます。
- ステップ 2 操作ボタンについては次頁「操作キー」をご覧ください。
- ステップ 3 車両とのペアリングについては、「車両とのペアリング」および

noodoe 創作アップロード機能をご覧ください。

- A アプリの機能については、「アプリ機能紹介および創作モード」をご覧ください。
- B 位置情報機能については、「位置情報機能」をご覧ください。
- C 通知機能については、「通知機能」をご覧ください。
- D ウェルカムライトの機能については、「ウェルカムライト」をご覧ください。

4 構造制御機能

noodoe 機能の起動

ステップ 1 アプリのダウンロード：“noodoe アプリのダウンロード”からダウンロードすると、自動的にインストールされます。

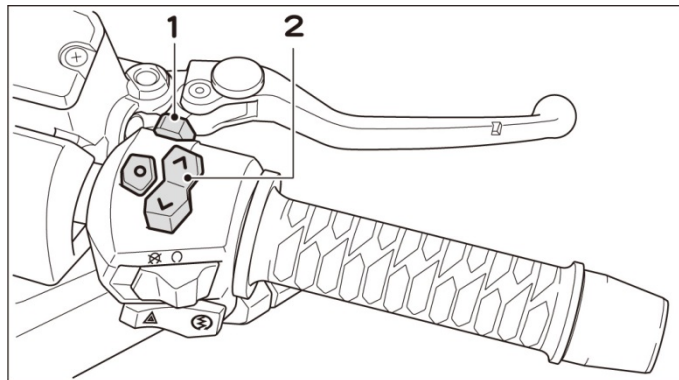
Play ストア (Android) および App Store (iOS) から、キーワード「noodoe」で検索できます。




⦿ Attention

- ◆ 最低バージョン：Android 4.4 以上、iOS 9 以上。
- ◆ 携帯電話から Google サービスを利用できない場合、アプリが円滑に作動しません。

ステップ 2 操作キー



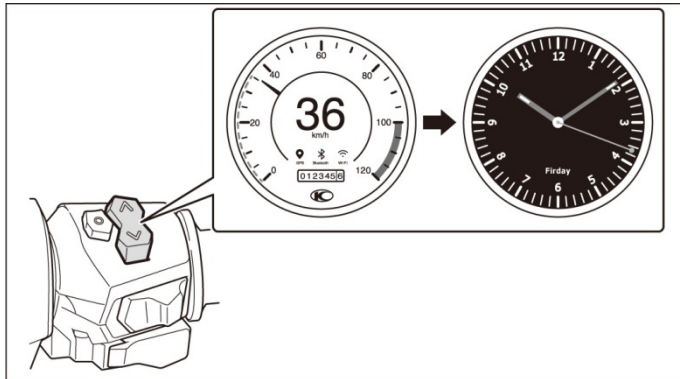
1：メーターと noodoe 切り替えスイッチ
2：メーターと noodoe 操作スイッチ

	m	m → 操作メーター左右両側機能の表示
	n	n → 操作メーターnoodoe 機能の表示
	(^)	キー → Up Button
	(v)	キー → Down Button
	(O)	キー → Enter Button

走行時



- (^)および(v)キーにより、noodoe メーターで4画面が切り換ります。
- この時、(O) キーは機能しません。



停止時

通知機能：

- (^)および(v)キーにより、noodoe メーターで4画面が切り換わります
- (O) キーにより通知機能を ON または OFF になります。

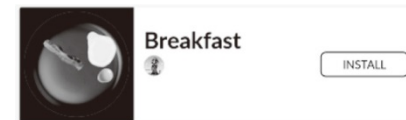
ステップ3 車両のペアリング

車両をペアリングする場合、アプリを起動し(携帯電話) → 設定(携帯電話) → 車両設定(携帯電話) → キーON(車両) → 操作キーで新ユーザーまたは旧ユーザーを選択(車両) → (O) キーで「ペアリングモード」を起動(車両) → Bluetoothを選択(携帯電話) → 接続(携帯電話) → コード入力(携帯電話および車両) → (O) キー → ペアリング成功。




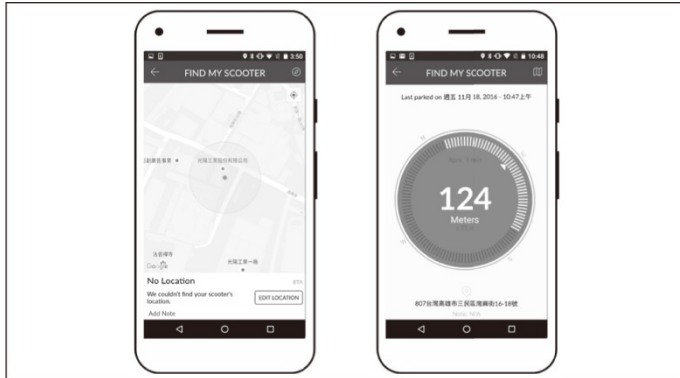
ユーザーは創作したメーターを車両に使用することができます。

- 携帯電話の表示
- メーター表示



B 位置情報

- 愛車をどこに停めたかを忘れてしまった場合・・・noodoe が停車位置をお知らせします。
-  をクリックすると、プログラムが最後に駐車した場所までご案内します。
- マップまたはプログラムのガイドにより、距離や方向を示して、車両の位置を知らせます。



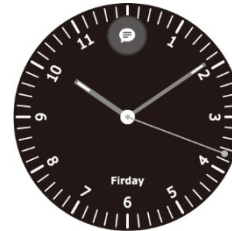
携帯電話の Bluetooth とインターネット機能を ON にします。
位置情報は 2 種類の方法で表示されます。

1. マップモード
2. 方位モード

C 通知機能

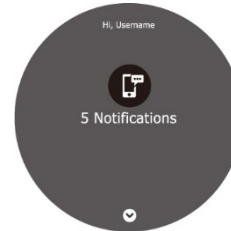
携帯電話と一度接続されると、入力情報はすべて車両のパネルに送信されます (Android のユーザーは設定画面から最初に選択するプログラムでの表示を選択することができます)。

- 車両移動時：



noodoe メーターの上方に情報図が表示されます。(安全運転のため、車両移動中は情報が閲覧できません)

- 車両停止時：

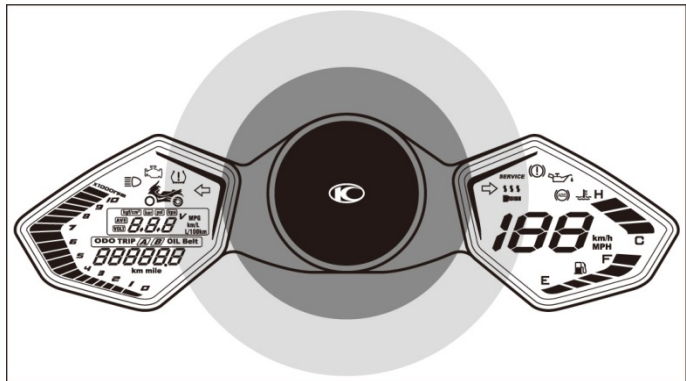


走行時に得られた情報は、次の停車時に自動的に表示されます。
右ハンドルスイッチの ENTER キーを押して情報を確認することもできます (停止時に限ります)。

4 構造制御機能

D ウェルカムライト

所有者が自分の愛車に近づくと、ウェルカムライトが点灯して歓迎します。広い駐車場や夜間で愛車を見つきたい時に実用的な機能です。



⚠ WARNING

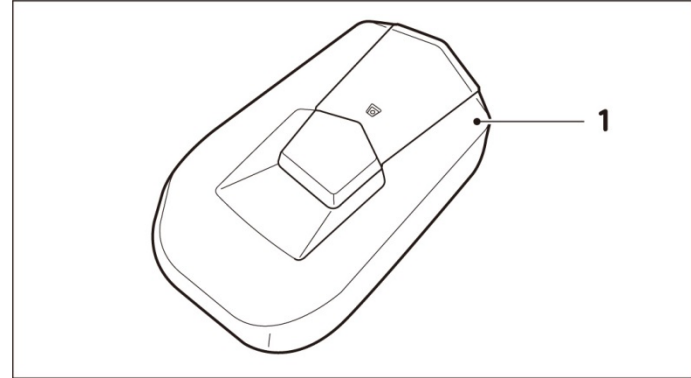
- ◆ noodoe 使用時は、携帯電話と車両バッテリーの電力が十分あることを確保し、必要な際はエンジンを始動して充電し、換気の良い場所に置きます。
- ◆ 電源をオフにした場合、バッテリーの電圧が下がり、noodoe システムは自動的にブルトウス/接続/ウェルカムランプ機能を停止します。エンジン始動後も使用できない場合、KYMCO 正規販売店で点検修理を受けてください。

◎ Attention

1. 天気や地区表示データ資料の正確性を保つため、携帯電話の GPS とインターネット機能を ON にしてください（携帯電話の信号が不通になった場合、それまでの情報が表示され、信号が正常に戻った際に新たな情報が表示されます）。
2. 速度/温度/時間の単位の設定は、すべて携帯電話から行うことができます。データ更新は周波数による僅かな誤差の影響を受けることがあります。
3. Bluetooth のスキャン速度と結果は携帯電話の規格や互換性の影響を受けることがあります。
 - a. Bluetooth のスキャンが遅い
 - b. ペアリングが成功しない
 - c. 接続中に Bluetooth のエラーが生じる
4. ユーザーは、noodoe で情報を表示するため、携帯電話で情報共有を設定する必要があります。
5. 走行中は、noodoe メーターは情報を表示しません（着信記録、SM、LINE、FB など）。停止した時に、noodoe は自動的に着信電話などの情報データを表示します。
6. 電源を切る前の最後の画面が、次回起動する際に表示されます。
7. Compass 機能を使用するには携帯電話から設定する必要があります。データ更新は、周波数による僅かな誤差を生じることがあります。
8. Compass 機能は、車両を購入に移動を開始すると、自動的に走行方向を判断して修正を行います。そのため、メーターと noodoe アプリの接続後、走行前に方位の修正ができないのは正常です。
9. 携帯電話と noodoe の接続後、noodoe は時間を自動的に修正します。
10. 走行時には noodoe の操作を行わないでください。事故の原因になります。

11. ウェルカムランプ作動機能は APP により設定をおこないません(オン又はオフ)。
ウェルカムランプ設定をオンにする場合：
 - a. ブルートゥースを再接続した後にウェルカムランプが起動します。毎回起動して 2 分後に自動的にオフになります。
 - b. 毎回運転終了後、シングル接続の携帯電話はウェルカムランプを 3 回起動するのみで、3 回目の起動後、ウェルカムランプは自動的にブルートゥース機能をオフにします。
 - c. Find My Scooter ページは、システムがウェルカムランプをオンにしてからブルートゥース範囲を離れるか、ブルートゥース接続機能をオフにするまでの a 項及び b 項の機能をカバーしています。
 - d. ウェルカムランプオフ後、待機状態は 3 日間続き、3 日後にウェルカムランプ又は電池の電圧が低すぎる(約 12V)ことにより、ブルートゥース機能は自動的にオフになります。
12. KEYLESS イグニッションをオフにすると、全ての情報は削除され、個人情報外部に漏れるのを防ぎます。
13. APP 情報表示速度はネットワーク伝送速度の影響を受けます。よってネットワーク速度が遅い状況下では、情報表示速度も遅くなります。
14. iOS と Android システムはある特定のアプリケーションプログラムの情報通知制限をおこないます。
15. iOS と Android バージョンアップグレード後、APP が使用できなくなったり、一部の機能の携帯電話が使用できなくなったりする恐れがあります。
16. noodoe を使用する際は携帯電話と車両バッテリーの電力が十分である必要があります。エンジンを始動して充電する場合、通気が良好な場所を選んで始動してください。
17. バッテリーの電圧が低すぎ(約 12V)、且つ 30 秒間持続した場合、noodoe システムは自動的にオフになります。電圧が 11.8V を下回った場合、エンジンを始動するかシステムの使用をやめ、KYMCO 正規販売店でループ点検を受けてください。
18. 使用状態がある特別な環境やモード下の場合、noodoe システムはメーター内部の温度が高まり、シャットダウンプロテクトモードに入りますが、温度が下がってからシステムは再起動をおこないます。

KEYLESS リモコン



1: KEYLESS リモコン

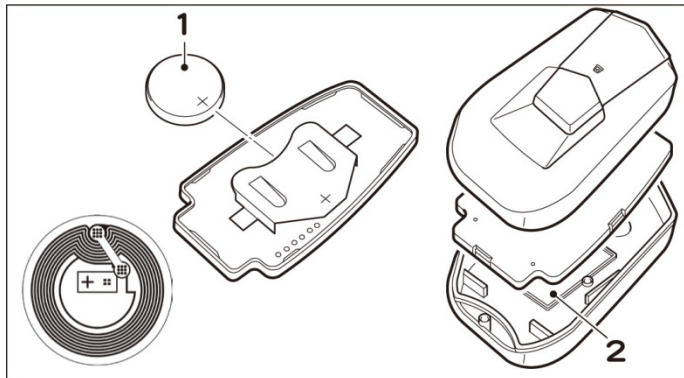
KEYLESS はハイテクで鍵を必要としない電子イグニッション (上図のように) で、各車両はいずれもリモコン 2 個が配備されています。各車両には (上図の) リモコン 2 個が配備されているのでしっかり保管し、リモコンの紛失等で KEYLESS イグニッションをオンにできない場合に対して、必ず 1 個のリモコンを保管しておいてください。

⚠ WARNING

KEYLESS リモコンを 2 組とも紛失又は損壊した場合は KYMCO 正規販売店にて点検を受けるか交換してください。

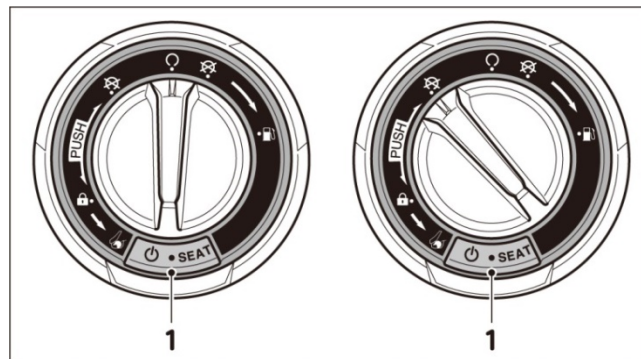
4 構造制御機能

リモコン電池の交換



1 : リモコン電池

リモコン電池の型番 : CR2450



1. キー

イグニッションがオフの状態ですイッチを~~○~~まで回すと赤いバックライトが点灯し、消えた後ブザーがピーと鳴り、KEYLESSシステム及びバックライトがオフになります。

キーを押すとイグニッションのバックライトが約1秒間点灯した後には消えます。バックライトが正常に点灯しないか消えない場合は、すぐ KYMCO 正規販売店で点検を受けてください。



この位置のときにステアリングはロックされます。



この位置のときにバイクの電源は全てオフになります。(エンジン停止)



この位置のときにバイクの電源は全てオンになります。(エンジン始動可能)



下に押してから移動させます。



シートが開きます。

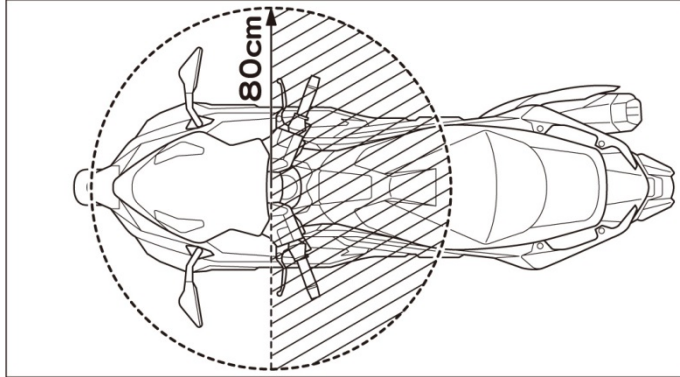


ガソリタンクのキャップカバーが開きます。



一つの区切りを表します。

KEYLESS センサーの距離



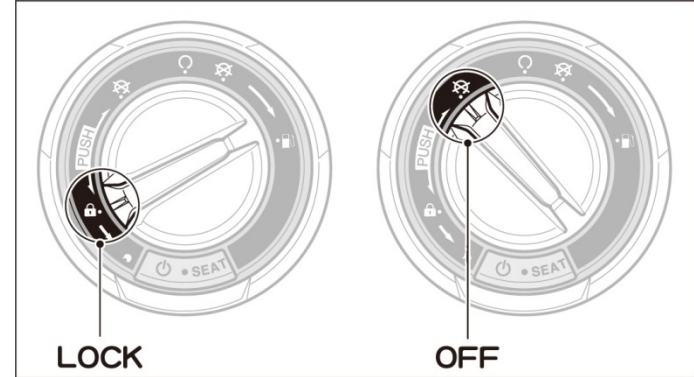
遠隔センサー：0↑-80cm

近接センサー：0cm

◎ Attention

- ◆ 最良のセンサー距離は80cmですが、実際のセンサー距離は環境の差により異なります。
- ◆ バイクから離れる際は、必ずステアリングロッドをロックしたか確認するとともに、KEYLESSシステムをオフにし、リモコンを所持してください。

KEYLESS イグニッション



KEYLESS コントローラー盗難防止設定：遠隔(ロック)

1. 運転者がバイクを離れる際は、KEYLESS イグニッションをON (●) の位置からOFF (⊗) 及び LOCK (🔒) の位置に回し、KEYLESS イグニッションカバーに赤ランプが灯ってからキーを押すと、ピーという音の後にノブが空転し、ロック動作が完成します。キーを押さないと、数秒後にシステムがピーッと鳴り、ノブが空転します。
2. リモコンの電池が切れたり干渉がある場合はロックできなくなりますが、近接センサーは使えます。

4 構造制御機能

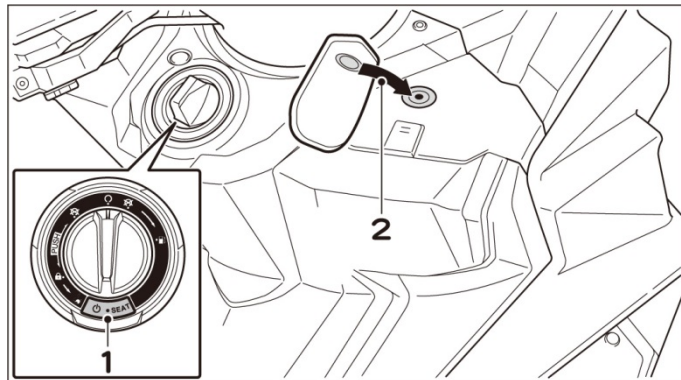
KEYLESS コントローラー盗難防止設定—遠隔（ロック解除）

KEYLESS コントローラーの遠隔センサー操作モードは以下のとおりです。

1. キーを押すとイグニッションカバーの青ランプが灯るとともにピッと短い音が2回鳴り、ノブが空転しなくなるまで回転します。ノブがオンの状態になるまで回転し、青ランプが消えるとエンジンを始動できます。
2. リモコンの電池が切れたり干渉がある場合はロックできなくなりますが、近接センサーは使えます。リモコン背面の○で囲った箇所(ボタンがない面)を右前のフロントポケット上方の丸い記号に近づけると、遠隔モードと同じ操作になります。

◎ Attention



- ◆ 運転者は遠隔(ロック)状態モードで盗難防止ロックをかけるよう強くお勧めします。
- ◆ 運転者が遠隔操作距離内にいて KEYLESS イグニッションを操作できない場合は、すぐにリモコンの電池を交換するか、近接センサーを使用して車両のロックを解いてください。



1: キー

2: 近接センサー: リモコンの○で囲った箇所を右側のフロントポケットの○で囲った箇所に近づけます。

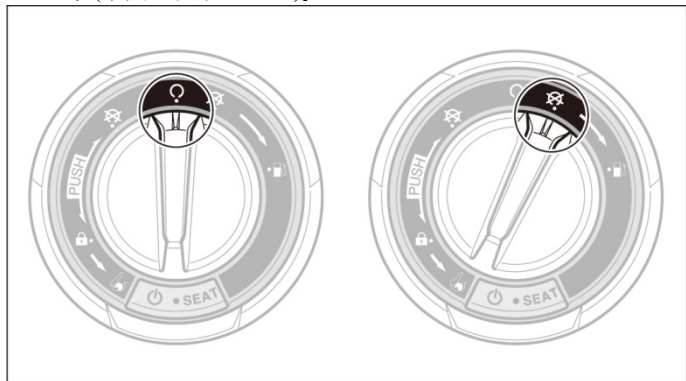
KEYLESS コントローラー盗難防止設定—近接センサー（ロック解除）

リモコンの電池が切れたり干渉がある場合はロックできなくなりますが、近接センサーは使えます。リモコン背面を右前のフロントポケット上方の丸い記号に近づけると、ピッと短い音が2回鳴り、KEYLESS イグニッションボタンが OFF  から ON  の位置まで回転します。このとき KEYLESS イグニッションカバーが青く灯り、ロック解除動作が完了します。



KEYLESS コントローラー盗難防止設定—近接センサー(ロック)遠隔(ロック)手順と同じ。

◎ Attention

- ◆ LOCK 及び OFF 状態でロック解除後にボタンが回転しない場合、青ランプが点灯したままとなり、ON に回すとエンジンは始動します。必ずキーロックをかけることを忘れないようにしてください。
- ◆ ON → OFF 時、システムがピーという長い音を発しなくても再度 ON にすればバイクを操作できます。
- ◆ ON 又は OFF 状態で、ボタンを押してトランクを開け、給油マークまで右に回すとガソリンタンクキャップカバーが開きます(下図を参照のこと)。




▲ WARNING

運転中は事故防止のため、イグニッションを  又は  の位置にしないでください。



ハンドルロック

盗難防止のため、駐車の際にはハンドルロックをかけてください。





ロックの方法：

ハンドルを左側に向け、イグニッションを内側に押し、「」の位置まで左に回します。

ロック解除：

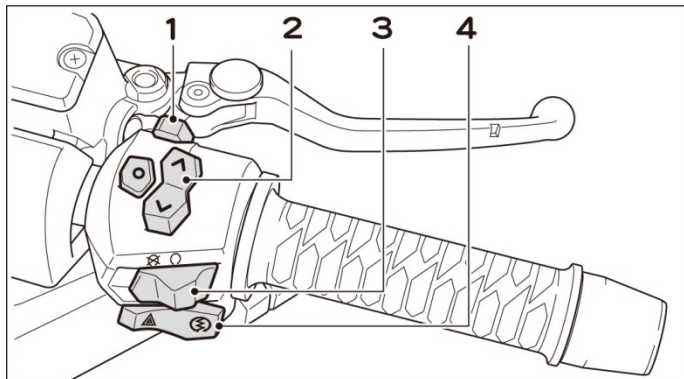
イグニッションを「」の位置から内側に押し、「」の位置まで右に回すとロックが解除されます。

◎ Attention

- ◆ ハンドルロックする際は、イグニッションを「」の位置にし、ステアリングロッドがロックされていることを確認してから、バイクから離れてください。
- ◆ 交通安全の妨げにならない場所に駐車してください。
- ◆ リモコンを置く位置によっては KEYLESS システムに影響を与える場合があります(後ポケット、バックパック...など)
- ◆ リモコンを車両から遠ざけると車両が始動しないので気を付けてください。
- ◆ KEYLESS システム起動後(バックライトが青ランプ)、イグニッションスイッチが空転しますので、まず「」まで回転させてから「」にしてバイクを始動してください。又は「」からキーを押して再度ボタンを回転させてください。
- ◆ リモコンは湿気の多い場所や高温の場所に置かないでください。
- ◆ リモコンの電池が弱まると、遠隔センサーの反応が鈍くなります。
- ◆ 電池交換の際は、不正な動作によりリモコンの機能を損なうことがないように、専門の KYMCO 正規販売店でおこなってください。

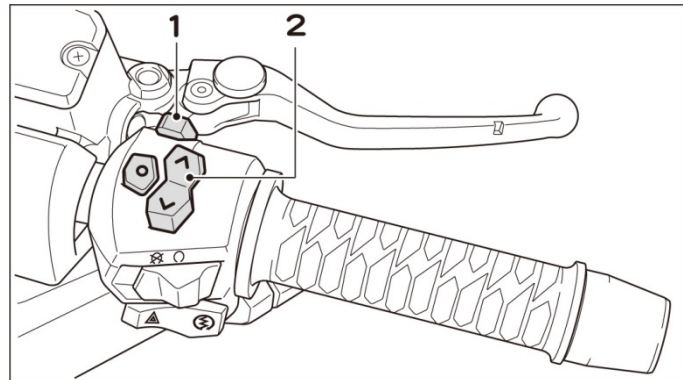
4 構造制御機能

右ハンドルスイッチ



- 1: メーターと noodoe 切り替
えスイッチ 2: メーターとnoodoe操作スイッ
チ
- 3: エンジン運転スイッチ 4: 駐車警告スイッチ/セルモーター

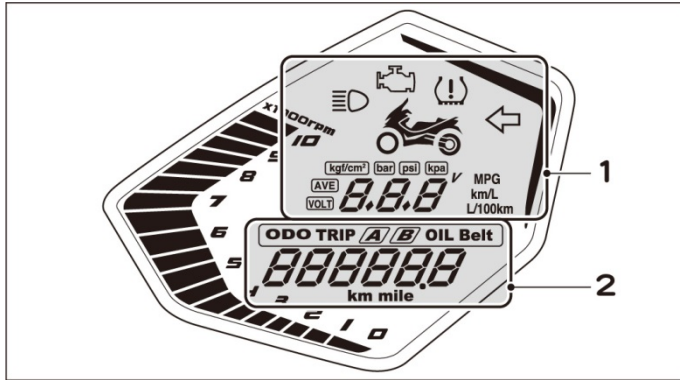
1: メーターと noodoe 切り替えスイッチ: このボタンを押すと、メーターと noodoe インターフェースが切り替わります。



- 1: メーターとnoodoe切り替えス 2: メーターとnoodoe操作スイッ
イチ

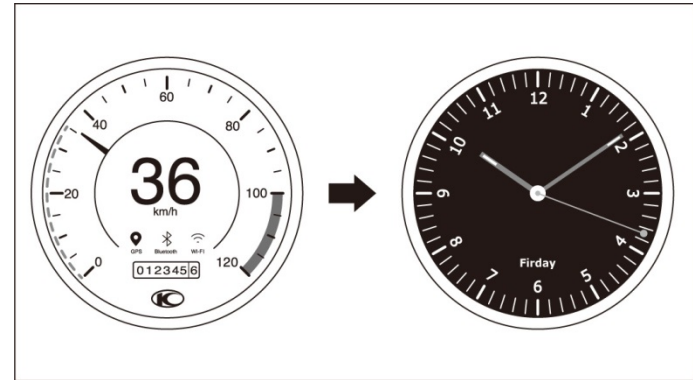
2: メーターと noodoe 操作スイッチ

- 切り替えスイッチを m の位置にし、操作スイッチの上 (^) ボタンを選ぶと、メーター左上方の運転情報が切り替わります。
- 切り替えスイッチを m の位置にし、操作スイッチの下 (∨) ボタンを選ぶと、メーター左下方の運転情報が切り替わります。



- 1: 切り替えスイッチを m の位置にし、操作スイッチの上(\wedge)ボタンを選びます。
- 2: 切り替えスイッチを m の位置にし、操作スイッチの下(\vee)ボタンを選びます。

- 切り替えスイッチを n の位置にし、操作スイッチの上(\wedge)ボタン/下(\vee)ボタンを選ぶと、メーター中間の noodoe 関連情報が切り替わります。



- 3: エンジンオフスイッチ
 \otimes : この位置にあるとき、エンジンはオフとなり始動しません。スイッチを「 \bigcirc 」の位置に切り替えるとエンジンを始動できます。
 \bigcirc : この位置にあるとき、エンジンを始動できます。通常バイクに乗る際は、エンジン切り替えスイッチを「 \bigcirc 」の位置にしておきます。緊急事態が発生した場合、又はスロットルケーブルが引っ掛かるかバイクが転倒した場合、エンジンオフスイッチを「 \otimes 」に切り替えることで、エンジンを強制的にオフにすることができます。
- 4: 駐車警告スイッチ/エンジン始動スイッチ

4 構造制御機能

駐車警告スイッチ

▲：このスイッチを左に回すと、駐車警告ランプ(前後左右4方向のランプ)が点滅します

OFF：このスイッチを右に回すと、駐車警告ランプは点滅を停止します。

Ⓢ Attention

バッテリーの消耗を防ぐため、エンジンを止めてから長時間警告ランプを使用しないでください。

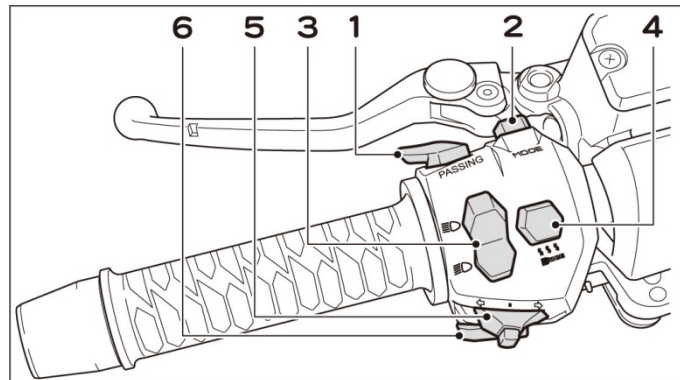
セルモーター

メイン電源をオンにし、前後のブレーキレバーを引いてからこのスイッチを押すとエンジンが始動します。

Ⓢ Attention

バッテリーの電圧不足でエンジンが始動できないのを避けるため、エンジンを始動する際に、セルモーターの馬力が弱い場合は KYMCO 正規販売店にて点検を受けてください。

左ハンドルスイッチ



1：追い越しランプスイッチ



2：モード切り替えスイッチ

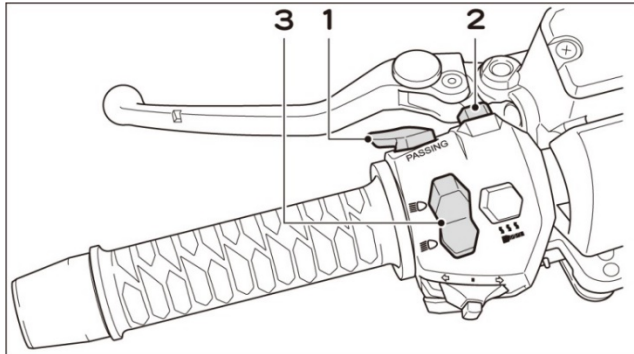
3：ハイ/ロービームスイッチ

4：ハンドルヒータースイッチ

5：ウイパースイッチ

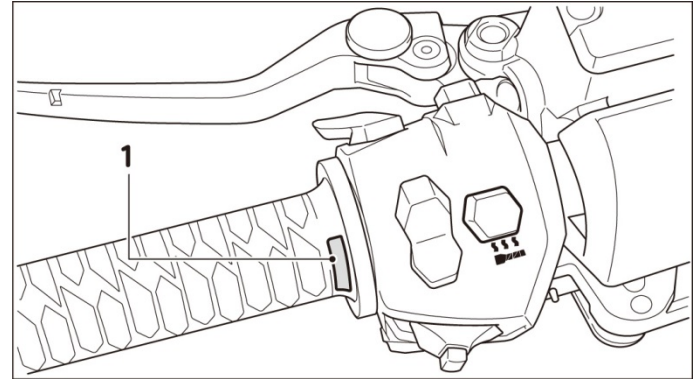
6：クラクションスイッチ

- 1: 追い越しランプスイッチ: このボタンを押すと、ハイビームが点灯します。
- 2: モード切り替えスイッチ: このボタンを押すと、メーターのLEDが琥珀色に代わり、雨天モードに切り替わります(減速制御)。
- 3: 遠近ビームスイッチ: スイッチを「」に切り替えるとハイビームに、「」に切り替えるとロービームになります。



- 1: 追い越しランプスイッチ
- 2: モード切り替えスイッチ
- 3: ハイ/ロービームスイッチ
- 4: ハンドルヒータースイッチ
 - イグニッション ON 後、ハンドルヒータースイッチを3秒以上長押しすると、ハンドルの加熱機能をオン/オフします。
 - ハンドルヒーター起動後、ボタンを短く押しと段位が一つ上がります(段位は 1 > 2 > 3 > 1 > 2 ... の順に切り替わります)。

ハンドルの加熱状態指示ランプ

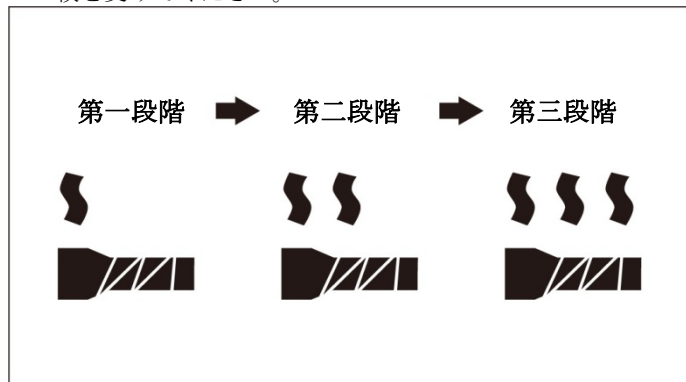


1: ハンドルの加熱状態指示ランプ

- a. **KEYLESS** イグニッション ON 後、指示ランプは白、赤がそれぞれ1回ずつ光り、LEDが正常かどうか自ら点検します。
- b. **KEYLESS** イグニッションを ON にし、指示ランプの自己点検終了後、ハンドルヒーターに異常が発生した場合、指示ランプは赤色が点滅し、ハンドルヒーター機能がオフになります。(指示ランプ点滅モードは以下の異常状態をご参照ください)
- c. **KEYLESS** イグニッション ON 後、ボタンを長押しして加熱機能をオンにし、異常がなければ指示ランプが白く光り、機能が正常に動作中であることを表します。
- d. **KEYLESS** イグニッションを OFF にするかボタンを長押ししてハンドルヒーターをオフにすると、指示ランプが消え表示をオフにします。


4 構造制御機能

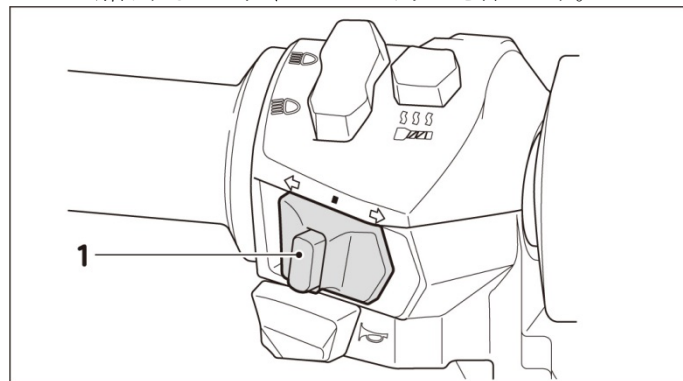
- e. ハンドルヒーターに異常が発生した場合、指示ランプは赤色で点滅します。
異常を排除し、再起動(Key Off → Key on)後指示ランプは回復し正常に作動します。
赤ランプが点滅している状態で、ボタンを短く押すと赤ランプの点滅が消えます。安全のため、KYMCO 正規販売店で点検を受けてください。



メーターの段階表示：

- a. ハンドルヒーター起動後、メーターはコントローラーの信号を受け、運転者に現在の加熱段階を表示します。
- b. 段階表示：
- 第一段階：45℃
 - 第二段階：55℃
 - 第三段階：65℃
 - 消灯：OFF


- (この温度は設定値のみで、実際の温度は操作時の環境温度と車両の温度で決まり、誤差が生じる場合があります)
- c. コントローラーからメーターに送られた信号に異常が発生した場合、メーターは  の表示が点滅し警告します。
5. ウィンカースイッチ：方向転換や車線変更時にはウィンカーを使用し、スイッチを押し入れるとウィンカーはオフになります。
- ⇐：左折。
⇒：右折。
■：解除するにはウィンカースイッチを押します。




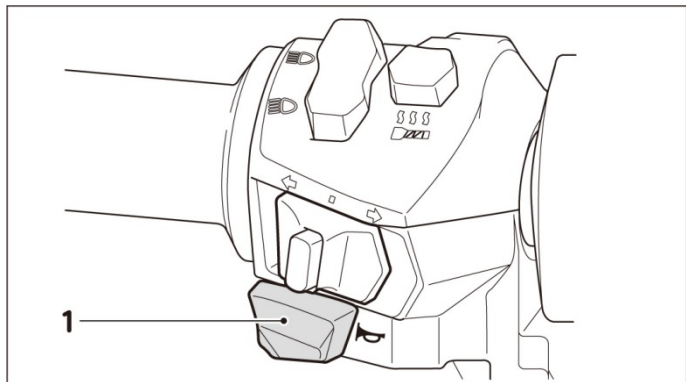
1：ウィンカースイッチ

◎ Attention

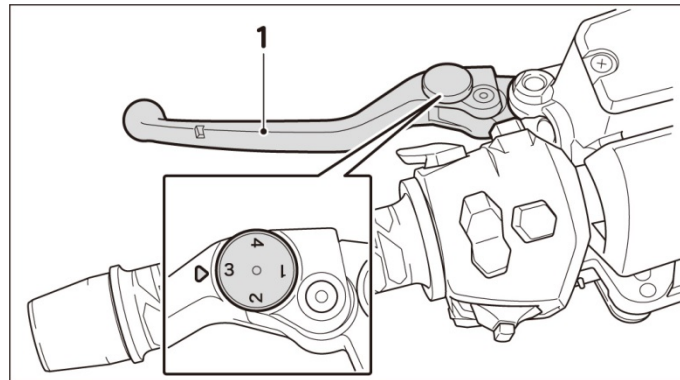
方向指示器は自動的に解除されませんので、使用後に解除する必要があります。解除を忘れると運転の安全に影響を与えます。

KEYLESS イグニッションが「」の位置にある場合、ウィンカーは作動しません。

6. ホーンスイッチ：イグニッション KEY ON が「」の位置にある時にホーンスイッチを押すとクラクションが鳴ります。



1：ホーンスイッチ

リヤブレーキレバー

1：リヤブレーキレバー

リヤブレーキレバーは左ハンドル上にあり、リヤブレーキ使用時は、左手でリヤブレーキレバーを握り、適切な力でブレーキをかけてください。

▲ WARNING

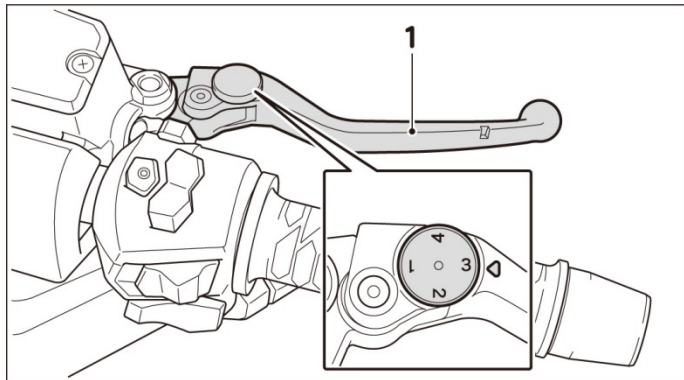
間違った操作は危険です。

◎ Attention

リヤブレーキレバーには位置調整ダイヤルがあります。ダイヤルはリヤブレーキと左ハンドルとの間の距離が調整できます。ボタンを適切な位置に設定し、リヤブレーキレバー上の位置記号を合わせてください。

4 構造制御機能

フロントブレーキレバー



1: フロントブレーキレバー

フロントブレーキレバーは右ハンドル上にあり、フロントブレーキ使用時は、右手でフロントブレーキレバーを握り、適切な力でブレーキをかけてください。

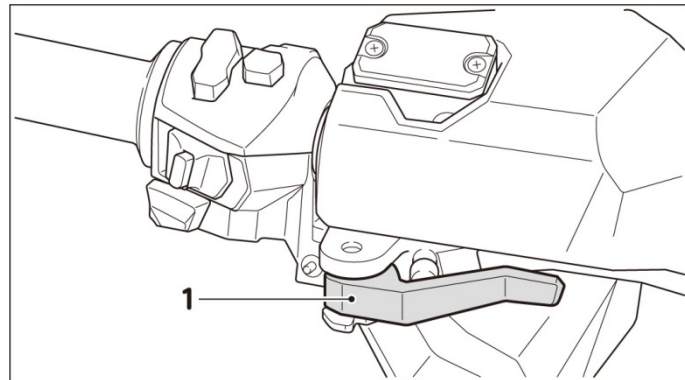
⚠ WARNING

間違った操作は危険です。

🕒 Attention

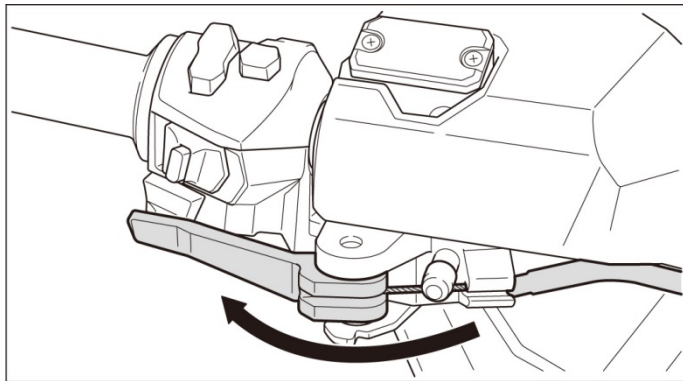
フロントブレーキレバーには位置調整ボタンがあります。回転ボタンはフロントブレーキレバーとスロットルグリップとの間の距離が調整できます。回転を適切な位置に設定し、且つフロントブレーキレバー上の位置記号を合わせて下さい。

駐車ブレーキアーム



1: 駐車ブレーキアーム

当バイクは駐車ブレーキアームを備えており、後輪をロックし、斜面に駐車した際に後輪が移動し事故を起こすのを防ぎます。

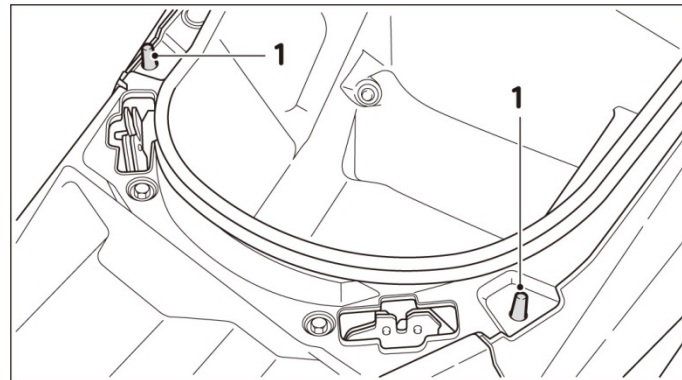


駐車ブレーキアームを左側に引っ張り、正確な位置に固定してください。ロックの解除は駐車ブレーキアームを元の位置まで引っ張ります(右側)。

⚠ WARNING

- ◆ 事故発生防止のため、乗車時は駐車ブレーキアームの使用を厳禁とし、そうでない場合バイクのコントロールを失い、事故が発生しやすくなります。バイクが完全に停止したかを確認し、駐車ブレーキアームを使用します。
- ◆ 駐車ブレーキアームを使用する際は、後輪が動かないか確実に点検してください。
- ◆ 運転前には必ず駐車ブレーキアームを解除し、運転時の動力異常や駐車システムの損壊を避けてください。

ヘルメットホルダー



1: ヘルメットホルダー

ヘルメットホルダーは座席の前側にあります。シートを開け、ヘルメットのバックルをヘルメットホルダーに掛けてからシートを閉じてください。

⚠ WARNING

ヘルメットをホルダーに掛けているときはバイクを運転しないでください。運転時にヘルメットが他人や運転者の動作を妨げ、車両の安全性に影響を与えます。

4 構造制御機能

トランク

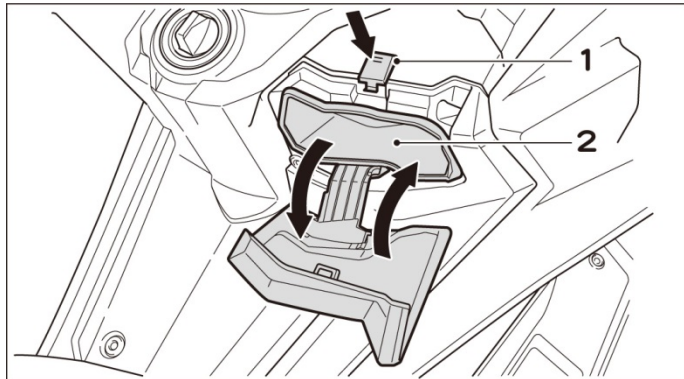
フロントポケット

左右のフロントポケットの開け方。

フロントポケットボタンを押してからフロントポケットカバーを下向きに引くとポケットが開きます。

左右のフロントポケット閉じ方。

カバーを元の位置に戻して、フロントポケットを閉じます。



1: フロントポケットボタン

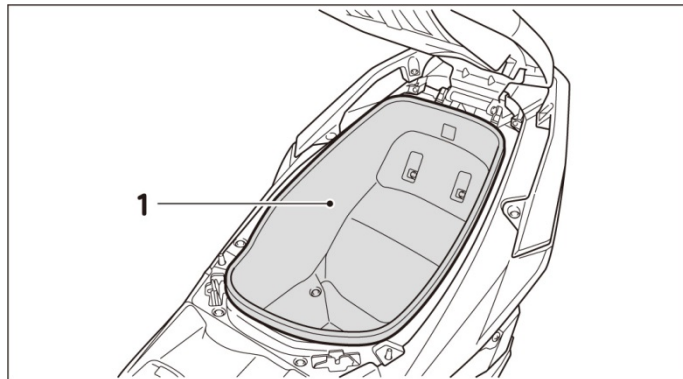
2: トランク

トランク

トランクは座席の下にあり、ヘルメットや他の物をトランクに置くことができます。

トランクの開け方。

1. 機械式：イグニッションを下に押すか時計の針の進行方向と逆に「👉」の位置まで回すと、トランクが開きます。
2. 電子式：
 - KEYLESS イグニッションが KEY ON の場合、イグニッション下方の「SEAT」ボタンを押すと、トランクが開きます。



1: トランク

◎ Attention

ヘルメットは最も適切な方法で入れるようにしてください。トランクの容量を超える物品はシートを閉じる際に損壊を招く恐れがあります。

◎ Attention

- ◆ ヘルメットはサイズと形状の違いによりトランクに収まらない場合があります。トランクの容量に合ったヘルメットをお選びください。
- ◆ 盗難防止のため、貴重品はトランク内に入れないようにしてください。車両から離れる際はシートを閉じてください。
- ◆ シートを閉じる際は、キーをトランクに入れていないことをご確認ください。
- ◆ カビが繁殖するのを避けるため、湿ったレインコートや衣服はトランクに入れないようにしてください。
- ◆ 湿気を帯びるのを避けるため、洗車前にはトランク内の全ての物品を取り出してください。
- ◆ トランクはエンジンの運転や環境により蒸し暑くなります。破裂しやすい物や可燃性、腐敗しやすい物はトランク内に置かないようにしてください。

以下の積載制限を超えないでください。

フロントポケット

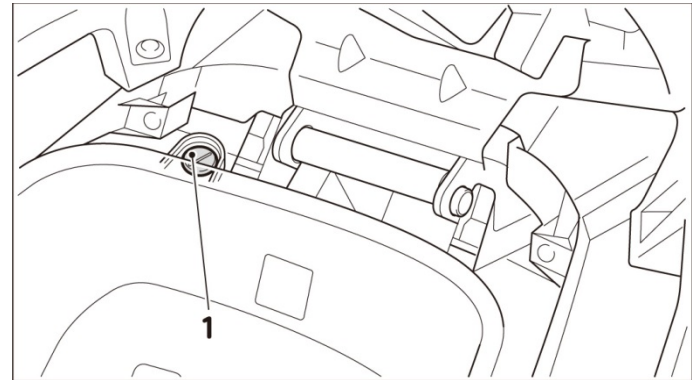
1.3 kg

トランク

10 kg

トランク内のユニット

- ◆ ライト(照射角度調整可能)：シートを開けるとこのライトが点灯し、シートを閉じるとライトは消えます。(このトランク内の照明は光センサーによってオンオフします。運転者がオフにするのを忘れるかシートにきちんと座らなくても、システムは一定時間経過後自動的に電源をオフにし、バッテリーの無駄な消耗を防ぎます。)

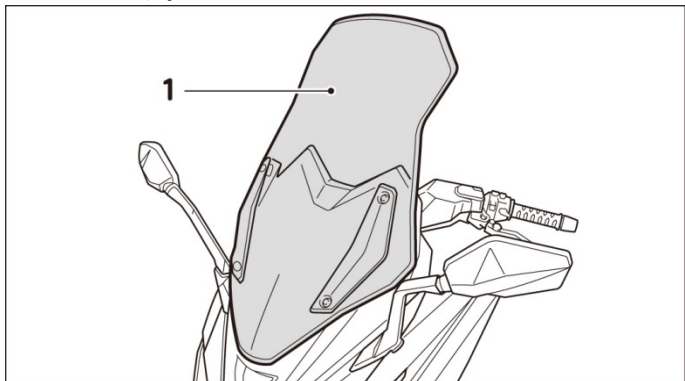


1：LED トランク光センサースイッチ

4 構造制御機能

ウインドシールド

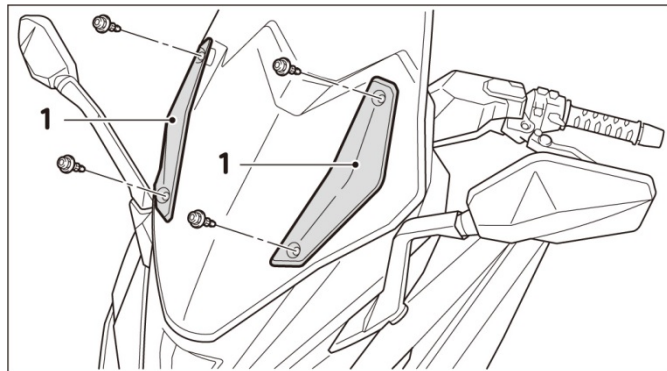
ウインドシールドは二つの高さがあり、運転者の必要によって選べます。



1: ウインドシールド

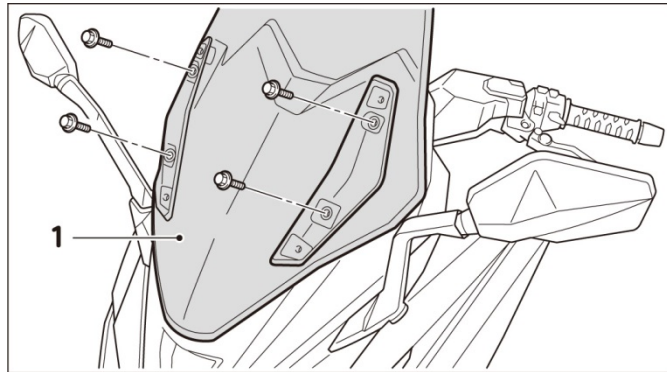
ウインドシールドの高さ調整

1. 固定ねじを取り、ウインドシールドの前カバーを外します。



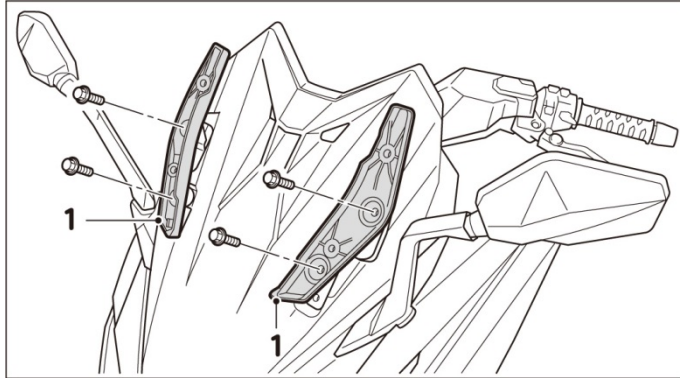
1: ウインドシールドの前カバー

2. ねじを取り、ウインドシールドを外します。



1: ウインドシールド

3. ウインドシールドの仕切りサポートを外します。



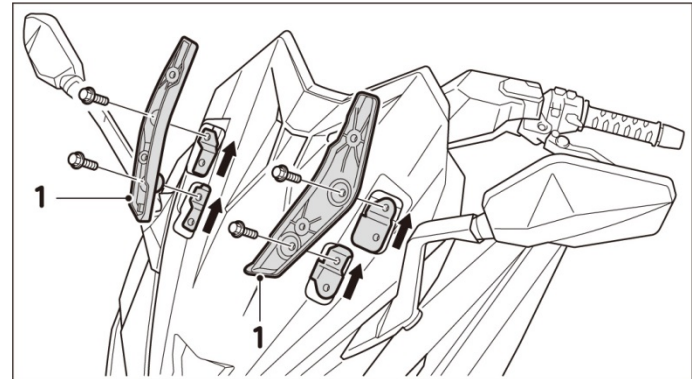
1: ウインドシールドの仕切りサポート

4. ウインドシールドの仕切りサポートを適切な位置に取り付けます。ねじを規範のトルクまできつく締めます。
 5. ねじでウインドシールドを固定された位置に取り付けます。
 6. ねじを規範のトルクまできつく締めます。

⚠ WARNING

ウインドシールドの取り付けが緩いと、事故を引き起こす恐れがあります。ねじは必ず規定のトルクまできつく締めてください。

7. ウインドシールドの前カバーを戻し、固定ねじで取り付けます。



1: ウインドシールドの仕切りサポート

取り付けトルク

固定ねじ

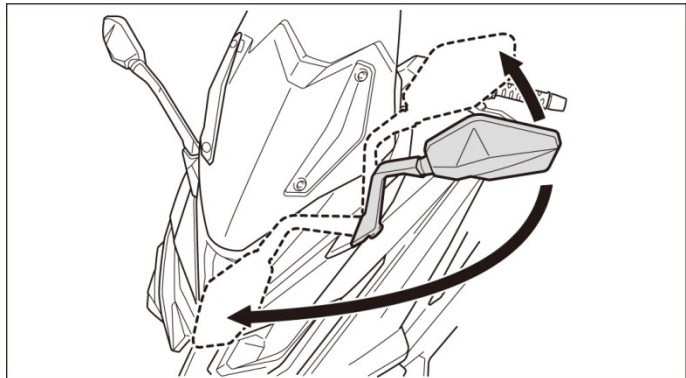
20-28 N-m (2.0-2.8 kgf-m)

ウインドシールドのねじ

10-14 N-m (1.0-1.4 kgf-m)

4 構造制御機能

バックミラー



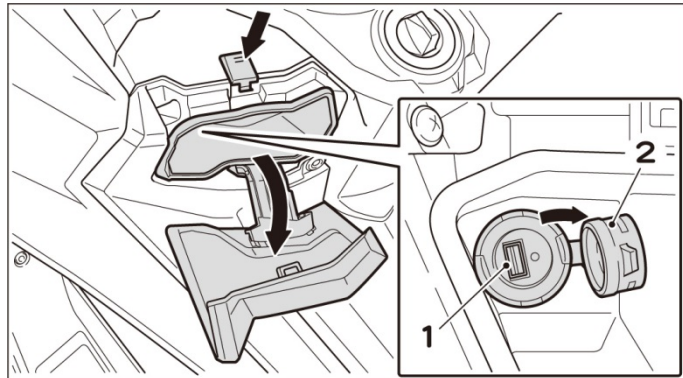
1: バックミラー

バックミラーは運転者の運転前及び運転中の安全を保障する重要な設備ですので必ず取り付けてください。バックミラーは前後に回転するように設計されています。バイクを狭い空間に停める場合や転倒した際、バックミラーは元の位置に戻すことができます。

⚠ WARNING

- ◆ 運転前に必ずバックミラーが適切な位置になるよう調整してください。
- ◆ 運転者及び後続車の安全を保障するため、バックミラーを取り外したり不適切な改装をおこなったりしないでください。

USB コンセント



1. USB コンセント

2: コンセント保護カバー

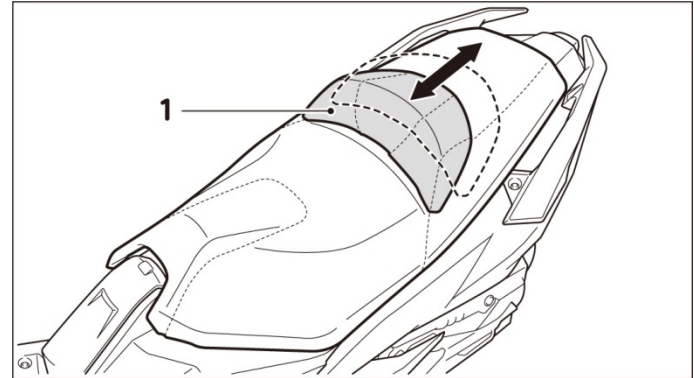
このバイクは左前ポケットには USB コンセントが配備されています。エンジン始動時、省電力消費製品をコンセントにつなぎ製品に電源を供給できます。

⚠ WARNING

- ◆ 感電やショートを避けるため、USB コンセント使用後はコンセントに保護カバーを取り付けてください。
- ◆ 事故発生を防ぐため、USB コンセントを使用する際はバイクを安全な場所に停めてください。

◎ Attention

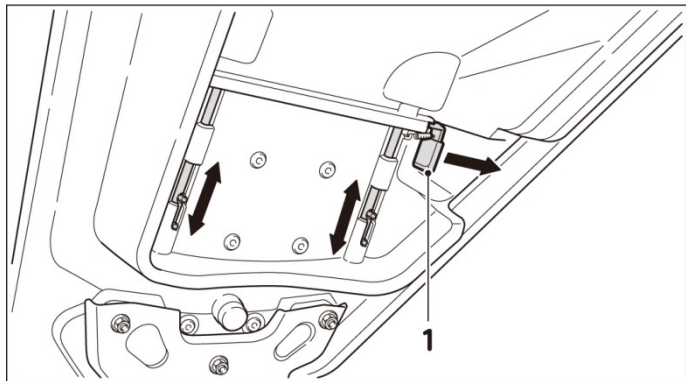
- ◆ USB コンセントはエンジンの起動中にのみ使用できます。
- ◆ バッテリーの消耗を防ぐため、エンジンを切った状態では USB コンセントを使用して製品に電源を供給しないでください。
- ◆ ヒューズが切れるのを防ぐため、充電製品の負荷は 10W を超えないようにしてください。充電中に過熱した場合は自動的に電源をオフにします。
- ◆ バイクを離れるか運転を終了した際は、必ず製品を取り外し、確実にコンセントカバーを戻してください。

バックレスト

バックレスト

運転時の快適性を高めるため、バックレストは2つの異なる位置に調整できます。

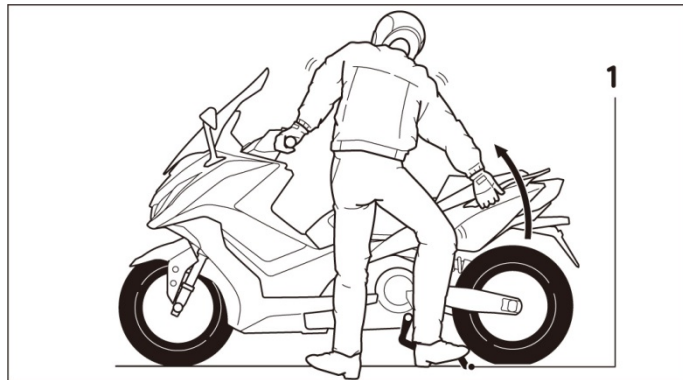
4 構造制御機能



1: プルロッド

1. シートを開けます。
2. プルロッドを押します。
3. バックレストを前後に滑らせ運転者に合った位置に調整します。
4. プルロッドを戻し、バックレストを決められた位置まで動かします。
5. シートを閉じます。

センタースタンド



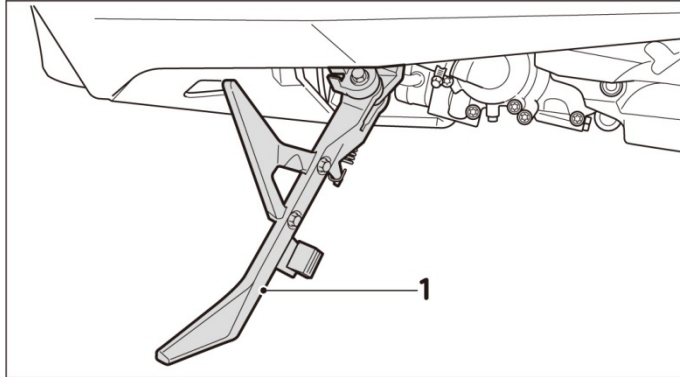
1: センタースタンド

センタースタンドを使用する際は、エンジンを止め、イグニッションを切ります。バイクと地面の垂直を保ち、左手で左ハンドルを握り、右手はバックサポートを握り、右足でセンタースタンドを踏み、右足と右手に同時に力を加えてバイクを立たせます。

⚠ WARNING

- ◆ 運転者は運転前に、センタースタンドが確実かつ完全に跳ね上がっているか確認してください。
- ◆ センタースタンドが地面に接触すると摩擦を起こし、干渉や制御に影響を与えますので、運転時はセンタースタンドは地面に接触しないようにしてください。
- ◆ センタースタンドのバネが緩んでくると、駐車時にセンタースタンドが定められた位置まで跳ね上がらなくなるので、すぐに KYMCO 正規販売店で交換してください。

サイドスタンド



1: サイドスタンド

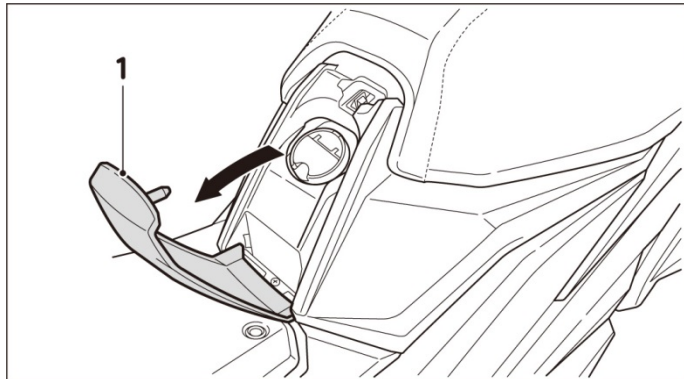
サイドスタンドはバイクの左側にあり、使用時は足でサイドスタンドを下に押すか上に上げます。サイドスタンドが下がっているとエンジンを始動できません。

⚠ WARNING

- ◆ サイドスタンドは点火回路遮断システムの一部です。運転者は乗車前に必ずサイドスタンドを押し上げてください。正常に作動しない場合は KYMCO 正規販売店で修理をおこなってください。
- ◆ サイドスタンドが下がらないか上がった状態を保持できない場合は運転しないでください。サイドスタンドが地面と接触すると、運転が制御できなくなります。


4 構造制御機能

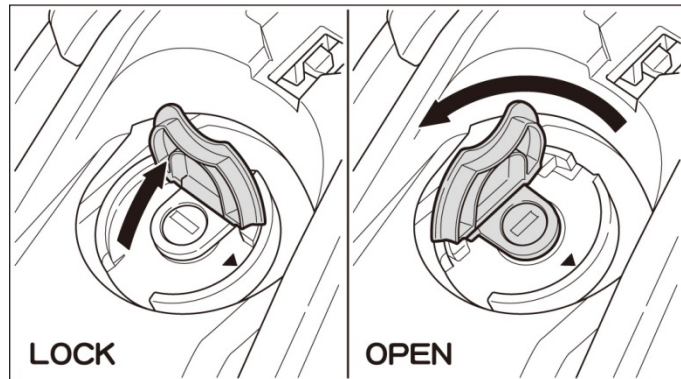
ガソリントankキャップカバー/tankキャップ



1: ガソリントankキャップカバー

ガソリントankキャップカバーを開け方

KEYLESS イグニッションを「OFF」の位置まで時計の針と同じ方向に回すと、ガソリントankキャップカバー  が開きます。



タンクキャップレバーを上を上げ、右に回すとタンクキャップを開けることができます。

タンクキャップの閉じ方

タンクキャップを回し、タンクキャップレバーが完全に戻されたことを確認してから、ガソリントankカバーを押し、完全に閉じられたことを確認します。

WARNING

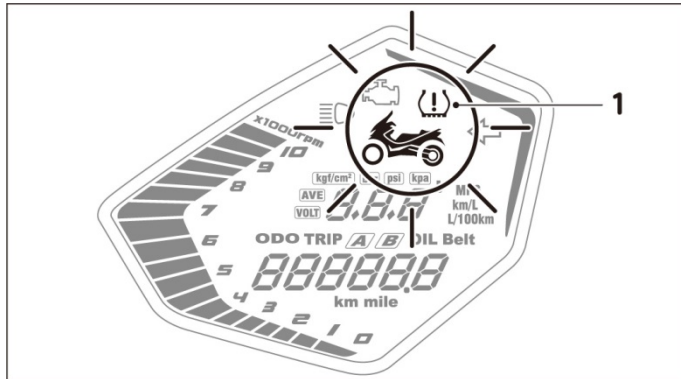
運転時にガソリンがタンクから流れ出し火災が発生するのを避けるため、給油後はガソリントankキャップが確実にロックされていることを確認してください。

TPMS 電子式タイヤ空気圧検出器

- ◆ TPMS は 2 個のワイヤレスタイヤ空気圧検出器(前後輪各 1 個でタイヤバルブに取り付けられています)及び 1 個のコントローラーで構成されています。検出器は現在のタイヤ空気圧を測定し、ワイヤレスでコントローラーに伝送し、コントローラーは信号をメーターに伝送し組み合わせたメーターやライトで表示し、運転者に現在のタイヤ空気圧を知らせます。

Attention

1. KEYLESS イグニッションを ON にすると、タイヤ空気圧検出器はメーター左側のタイヤ空気圧指示マークを点灯させます。タイヤ空気圧指示マークが自動的に消えるのは正常な現象です。(図の通り)



1: タイヤ空気圧指示マーク

2. KEYLESS イグニッションを ON にすると、タイヤ空気圧検出器はメーター左側のタイヤ空気圧指示マークを点灯させますが、表示が消えないのも正常な現象です。異常な現象は以下の通りです。

前輪のタイヤ空気圧

3.2kgf/cm²より高い、又は 1.5kgf/cm²未満

後輪のタイヤ空気圧

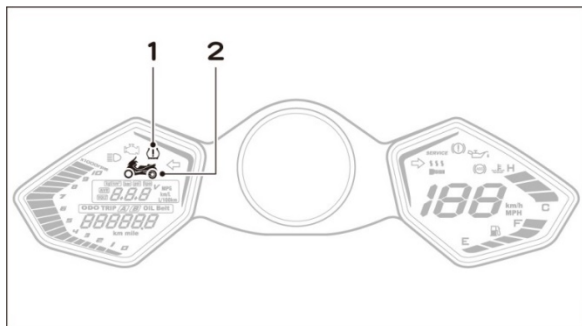
3.75kgf/cm² より大きい、又は 1.65kgf/cm²未満

タイヤ空気圧が高すぎるか低すぎる場合、車主はまず加圧するか空気を抜いてください。問題があれば KYMCO 正規販売店で処理してください。

(正常に充填した場合の標準タイヤ空気圧): 前輪 2.35kgf/cm²
後輪 2.7kgf/cm²)

3. TPMS 電子式タイヤ空気圧検出機能が失われますので、ワイヤレスタイヤ空気圧検出器及びコントローラーは取り外さないでください。
4. 新品のタイヤ又はホイールと交換した際は、TPMS 電子式タイヤ空気圧検出器を再設定する必要はありません。
5. 新品のワイヤレスタイヤ空気圧センサー及びコントローラーと交換する際は、TPMS 電子式タイヤ空気圧検出器を再設定する必要がありますので、KYMCO 正規販売店に連絡してください。
6. ホイール交換時、タイヤ空気圧検出器は前後輪を間違えないようにご使用ください。

4 構造制御機能



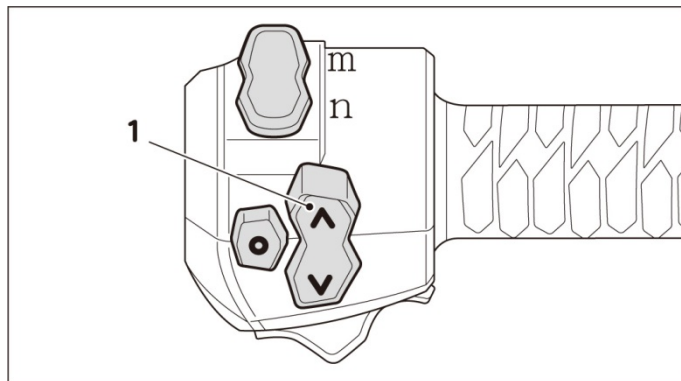
1: タイヤ空気圧警告ランプ 2: 車種マーク

TPMS コード学習操作説明:

- ◆ 車主及び KYMCO 正規販売店サービス員が使用します。
- ◆ ワイヤレスタイヤ空気圧センサー及びコントローラーに交換した場合、TPMS 電子式タイヤ空気圧検出器を再設定する必要があります。
- ◆ コードを学習する際は、誤動作を防ぐため、車両付近に関連車両、発射器がないようにしてください。
- ◆ ワイヤレスタイヤ空気圧センサーを正確に取り付け、タイヤ空気圧がすでに正確な数値まで充填され、かつタイヤが正確に取り付けられていることを確認します。

コード学習起動手順:

1. 操作キー(ハンドルスイッチの(\wedge)ボタン。先にコントロールメーターの位置 m に切り替えます)

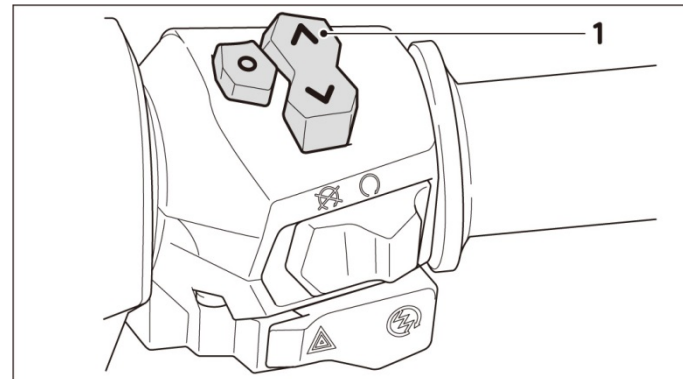


- 1: 操作キー。
2. **KEYLESS** イグニッション **KEY ON**。
3. 車の形の前輪が点滅するのを待ち、タイヤ空気圧単位がない場合は操作キー((\wedge)ボタン)を離します
4. **TPMS** システムがコード学習モードに入ります。
5. 前輪の位置マークが点滅を持続します。
6. 前輪の空気の漏れや充填時にタイヤ空気圧の変化が 3psi 以上になるとセンサーが 1 分以内で鳴るので、作業員は前輪のタイヤ空気圧が設定値になるまで待ちます。
(前輪が点滅しているときにコードを学習しなければ、キーを押して後輪のコード学習に入れます。2 分以内に学習を終えないとコード学習モードを終了します)。

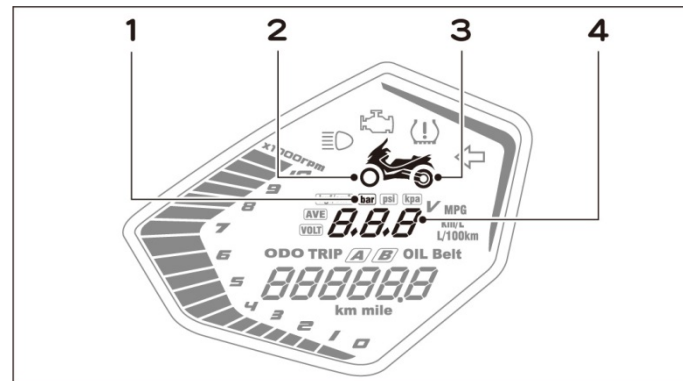
7. 車の形の後輪を変えた位置が引き続き点滅します。
8. 後輪の空気の漏れや充填時にタイヤ空気圧の変化が 3psi 以上になるとセンサーが 1 分以内で鳴るので、作業員は後輪のタイヤ空気圧が設定値になるまで待ちます。
(後輪が点滅しているときにコードを学習しなければ、キーを押してコード学習モードを終了でき、2 分以内に学習を終えないとコード学習モードを終了します)。
9. このとき前輪は点滅し、かつ単位を含んだタイヤ空気圧を表示します。

Attention

1. 車両購入後は、必ずタイヤ空気圧を 20psi 以上にし、TPMS コンピュータに初期値を自動学習させることで、その後の正常な操作を可能にします。
2. 部品交換後は再度コード学習プログラムを実行してください。
3. タイヤ交換時はタイヤ空気圧検出器をノズルの位置に取り付けるため、工具の挿入位置に注意し、ノズルを避けてください。
4. 部品を取り付ける際は、その方向性に注意してください。
5. タイヤ空気圧の正確な値は参考として供するのみです。
6. 部品取り付け時のナットの緩みは漏れの原因になります。
7. タイヤ空気圧を測定できない場合、タイヤ空気圧検出器の電池が切れていますので、新しい部品に交換してください。



1 : 空気圧力単位切り替えスイッチ



1 : 圧力単位

2 : 前輪

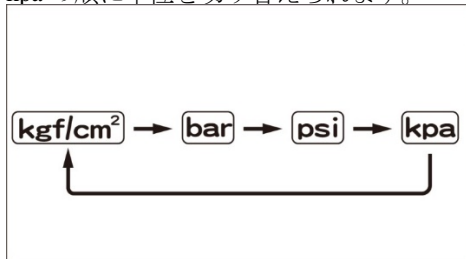
3 : 後輪

4 : タイヤ空気圧表示エリア

4 構造制御機能

圧力単位の切り替え

KEYLESS イグニッションを ON にし、車形のマークが光ったらメーター及び noodoe 切り替えスイッチを m の位置にし、キーを押して TPMS モードに切り替えます。その状態で右手ハンドルスイッチの「O」ボタンを押すと kgf/cm² → bar → psi → kpa の順に単位を切り替えられます。

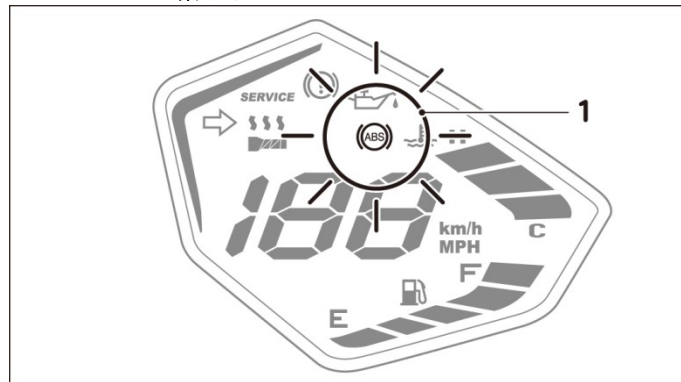


■異常状況：

1. イグニッションを ON にした際にメーター左側のタイヤ空気圧警告ランプが点灯したままの場合、前輪タイヤ空気圧が 3 kgf/cm² より大きいか 1.5 kgf/cm² より小さい、又は後輪のタイヤ空気圧が 3.75 kgf/cm² より大きいか 1.65 kgf/cm² (23.4psi) より小さいことが考えられます。切り替えキーを TPMS モードにするとタイヤ空気圧数値が点滅します。
2. コントローラーに異常がある場合、タイヤ空気圧警告ランプが点灯し、切り替えキーを TPMS モードにした際に **Err** と表示されます。
3. 環境の干渉を受けるかタイヤ空気圧検知器の信号を受信できない場合、タイヤ空気圧警告ランプが点灯し、切り替えキーを TPMS モードにしたときに **---** と表示されます。
4. タイヤ空気圧が急激に下がっている場合、タイヤ空気圧警告灯が素早く点滅し、タイヤ空気圧がゆっくり下がっている場合はタイヤ空気圧警告灯がゆっくり点滅します。

ABS (アンチロックブレーキシステム)

ABS ブレーキ指示ランプ



1：ABS ブレーキ指示ランプ

ABS ブレーキシステムはデュアル電子制御で、前後のブレーキに対し別々に作動します。通常 AMS ブレーキシステムを使用すると、ABS がハンドルにパルス信号を発するのが感 KYMCO 正規販売店れます。その際はブレーキを「かけて」ABS のブレーキ効果が下がることがないように、引き続きブレーキレバーを握っててください。

ABS ブレーキ指示ランプはメーター左上角(図を参照)にあり、指示ランプはイグニッションをオンにすると点灯しますが、自動的に消えることはなく、エンジン始動後運転速度が 6km/hr 以上に達した場合に ABS ブレーキ指示ランプが消えます。

◎ Attention

ABS は ECU により制御されており、ABS に故障が発生すると、ABS チェックランプが点灯し、ABS システムは機能を失う場合

があります。しかし当初のブレーキシステムは依然として正常に作動しており、ABS システムは通常のブレーキにまで回復します。

⦿ Attention

- ◆ 表面が粗い道路や砂利で舗装された路面を運転する場合、ABS ブレーキの有効距離は長くなります。
- ◆ バイクを運転する際は、随時前の車と適切で安全な距離を保持してください。
- ◆ ABS はブレーキ距離が長い場合に優れた性能を発揮します。
- ◆ ABS の性能不良を避けるため、車輪センサーや車輪センサーローターを取り外したり損傷を与えたりしないでください。
- ◆ KEYLESS イグニッションの電源を入れるか、運転速度が 6km/h かそれ以上になった場合、ABS は自己診断テストを行います。自己診断テスト時、ブレーキレバーを軽く握るとハンドルが振動していることが分かりますが、これは正常な現象です。

道路状況により急ブレーキをかけなければならない場合、ABS システムは急ブレーキ時のタイヤロックを助け、運転者が順調に方向転換できるようにし、ABS システムは自動的にブレーキ量を制御し、タイヤが滑るのを減らします。

ABS システムが以下の状況下にある場合、ブレーキ距離を短縮することはなく、柔らかく平坦ではない坂道を走行する場合、ブレーキ距離は ABS システムを搭載していないバイクより長くなる場合があります。よって ABS システムは比較的平坦な路面を運転する場合に最大の効果を発揮します。

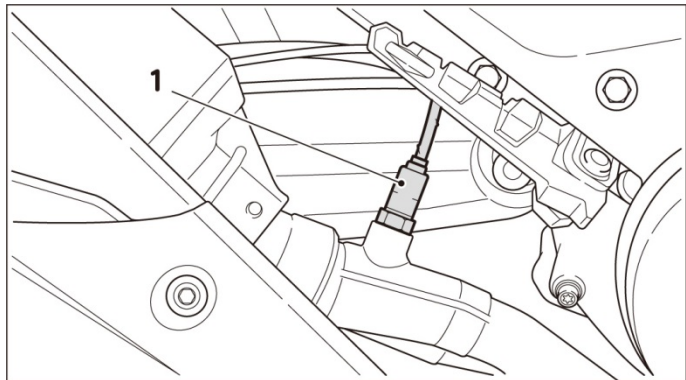
ABS システムには ABS-ECU および前・後部車輪速センサーが付属しています。メーカー要求の規格タイヤを使用しない場合、車輪速センサーが誤判断し、ABS システムが異常作動することがあります。

⚠ WARNING

- ◆ 製造元規格サイズ以外のタイヤを使用すると、ABS システムが正常に作動しないことがあります。ABS アンチロックブレーキシステムが正常に作動しないと事故の原因となります。KYMCO が指定した規格サイズのタイヤを必ずご使用ください。
- ◆ ABS システムが作動すると、ブレーキレバーに振動が生じますが、これは正常な現象です。
- ◆ 車速が 6km/h 以下になると、ABS は作動しません。
- ◆ 電力を失うかシステムが故障し、ABS システムの機能が失われた場合、ABS チェックランプが点灯します。

4 構造制御機能

O²センサー



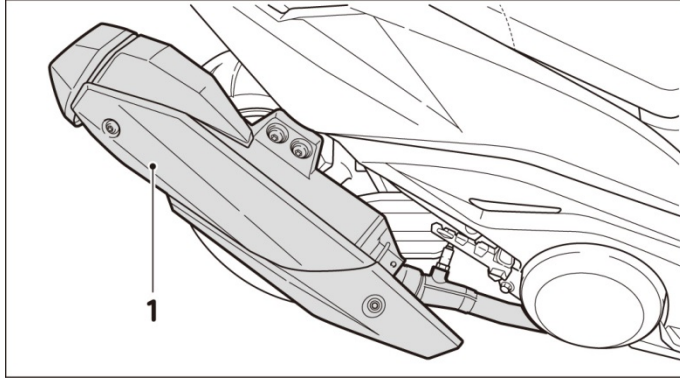
1: O²センサー

当バイクには O²センサーを搭載しており、排気ガス内の汚染物の発生を抑える役割をしています。

⚠ WARNING

O²センサーは自分で取り外したり交換したりしないでください。O²センサーの効果が下がったり失われたりします。

マフラー及び触媒コンバーター



1: マフラー

触媒コンバーターの機能は排気ガスにおける汚染物の発生を抑えることにあります。

⚠ WARNING

バイクに乗車後、排気システムは、排気ガスの燃焼による高温で、マフラーを高温にします。

火災ややけどを防ぐため、

- ◆ バイクは人、特に児童が触れることがない場所に停めてください。
- ◆ バイクは可燃物のそばに停めないでください。
- ◆ バイクをメンテナンスする際は、排気システムが冷え

ていることを確認してください。

- ◆ 走行中は、メイン電源を切らないでください。大量の燃焼前の混合ガスがマフラー内で燃焼するため、触媒コンバーターの損壊や焼損を招く場合があります。
- ◆ 有鉛ガソリンは触媒コンバーターの老化や失効を招く恐れがあるので、無鉛ガソリンを使用してください。

排気ガス制御システム

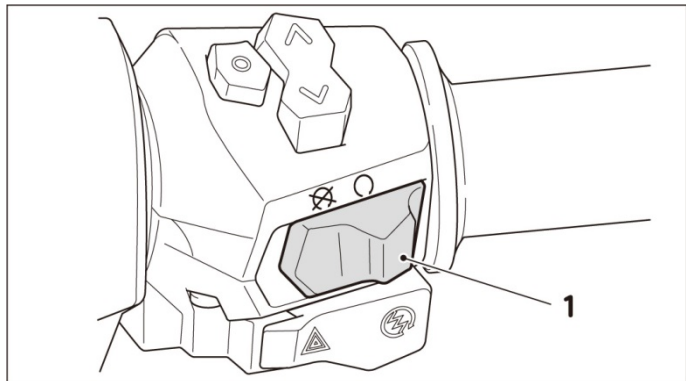
環境保護署の排気ガス排出基準を満たすため、バイクには以下の排気ガス制御システム部品を取り付ける必要があります。

- ◆ 電子制御部品
- ◆ クランクケース通気バルブ
- ◆ 触媒コンバーター
- ◆ スロットル
- ◆ 各種センサー
 - 吸気温度センサー
 - 吸入空気圧力センサー
 - スロットル開度センサー
 - O₂センサー
 - 温度センサー
 - 転倒センサー

5 正しい乗り方

正しい乗り方 エンジンの始動

- ◆ エンジンを始動する前にセンタースタンドを立ててください。
- ◆ エンジンを自動する前にオイル、ガソリンを点検してください。



1: エンジンオフスイッチ

エンジンオフスイッチ

⊗: スイッチがこの位置にある場合、エンジンはオフとなり始動できません。スイッチを「○」の位置に切り替えることでエンジンを始動できます。

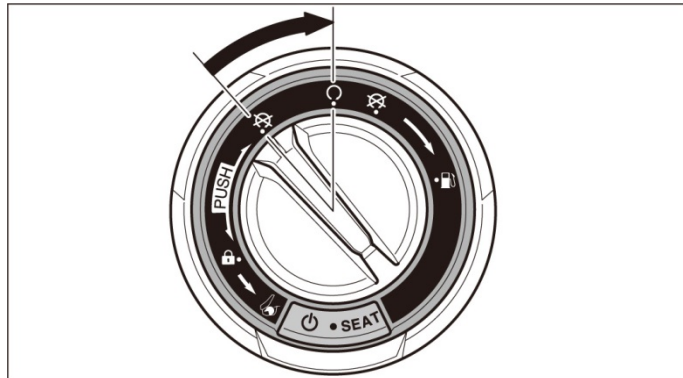
○: スイッチがこの位置にある場合、エンジンを始動できます。

Ⓞ Attention

- ◆ エンジンオフスイッチが⊗の位置にある場合、メイ

ン電源を切ります。よってブレーキレバーを握り、セルボタンを押しても始動モーターは作動しません。

- ◆ エンジンオフスイッチはエンジンを一時停止する場合に使用します。

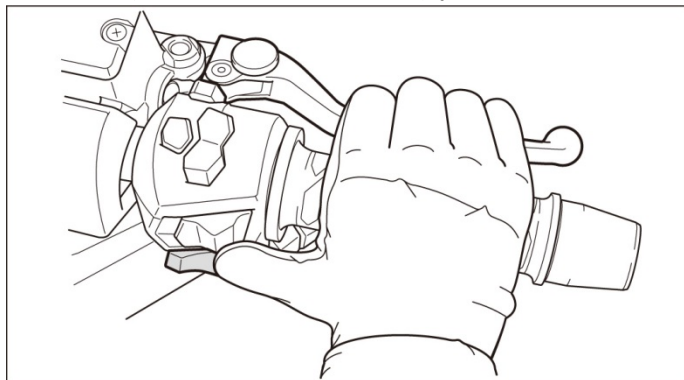


1. KEYLESS ロックを解除します。
2. イグニッションを回して「ON」の位置にします。
3. スロットルグリップが完全に閉じられていることを確認します。
4. サイドスタンドがしまわれていることを確認します。
5. エンジンオフスイッチが切り替わっていることを確認します。

Ⓞ Attention

停車し使用しない場合はKEYLESSをOFFの位置まで引っ張り、バッテリーが過度に放電しないようにします。

6. 前ブレーキレバー又は後ろブレーキレバーを握り、始動ボタンを押すとエンジンを始動できます。



7. エンジンを始動できない場合、始動スイッチをそのままにして数秒待ってから再度エンジンを始動してください。バッテリーの電力を確保するため、1回の始動時間は5秒を超えないようにしてください。

⊙ Attention

- ◆ エンジン始動後、すぐに指を始動ボタンから離します。
- ◆ 運転中に始動ボタンを押さないでください。エンジンの破損につながります。
- ◆ エンジン始動時、後輪ブレーキレバーを握っている必要があります。その時、ブレーキランプは点灯しています。

エンジンが冷えた状態で始動させた場合、短時間(約1-2分間)の暖機運転が必要です。高山地域や温度が低い地域では暖機運転(約3-5分間)することでエンジンの運転とバイクへの乗車をサポートします。

⚠ WARNING

- ◆ 運転前に、後輪ブレーキレバーを握り続けてください。
- ◆ 排出される排気ガスに含まれる一酸化炭素は有害ですので、狭い場所、換気が悪い場所での始動は避けてください。

燃費の低下

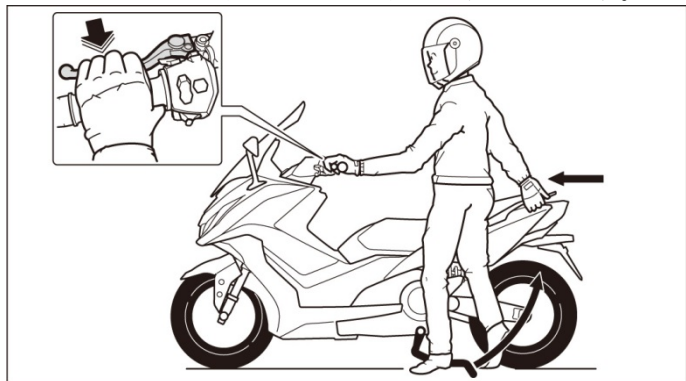
適切な乗車方法が燃費を良くします。以下の方法を参考にして燃費を良くしてください。

- ◆ エンジンを高速回転させて急加速しないでください。
- ◆ エンジンに負荷がない状態で高速回転させないでください。
- ◆ 信号待ち、渋滞、踏切などで長時間アイドルリングしなければならない場合は、エンジンを切ってください。

5 正しい乗り方

正しい乗り方

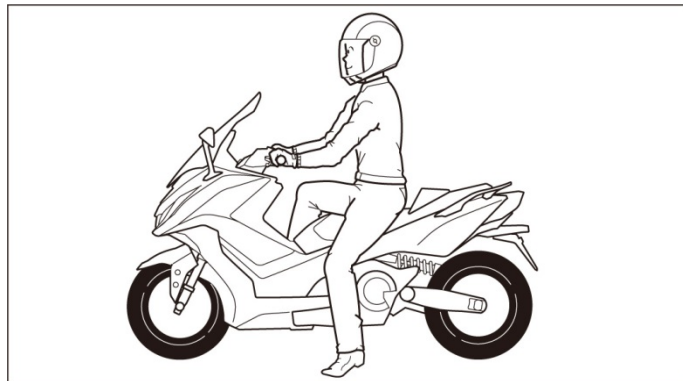
後輪ブレーキレバーを握ったまま、車両を前に押し、センタースタンドは跳ね上がり自動的に収納されます。



⚠ WARNING

- ◆ エンジンの回転数はレッドゾーンを超えないようにしてください。
- ◆ エンジンを始動したものの走行していない状態では、危険ですからアクセルを開いてエンジンの回転数を上げないでください。

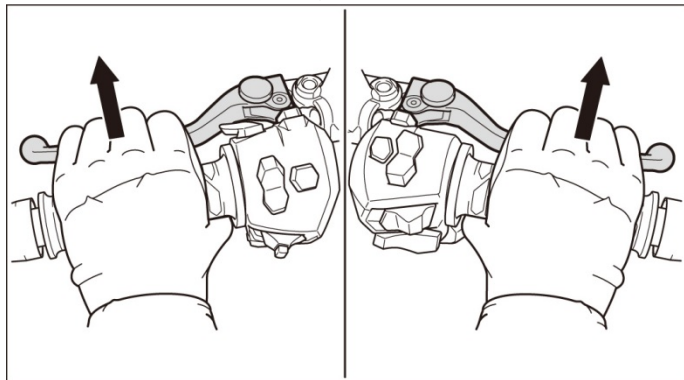
左側から乗り、正しく座り、左足は地面について転倒を防ぎ、バックミラーを適切な位置に調整します。



⚠ WARNING

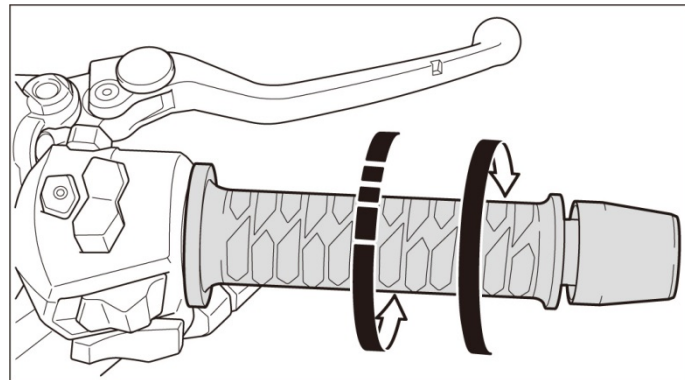
走行前は、後輪ブレーキレバーをしっかり握り、エンジンの回転数を不用意に上げないようにしてください。

前後輪ブレーキレバーの解除

**⚠ WARNING**

ブレーキ解除後は、アクセルを不用意に回してガソリンを注入しないでください。車が急に前に飛び出す危険があります。

アクセルを回すことでバイクの走行速度を調整できます。



速度の調整はアクセルで制御します。

回転 速度が速くなります。

ゆっくり加速します。

始動又は上り坂の場合、アクセルをゆっくり回転させて給油することで馬力が加わります。

戻す 速度が落ちます。

戻す際は機敏な動作が必要です。

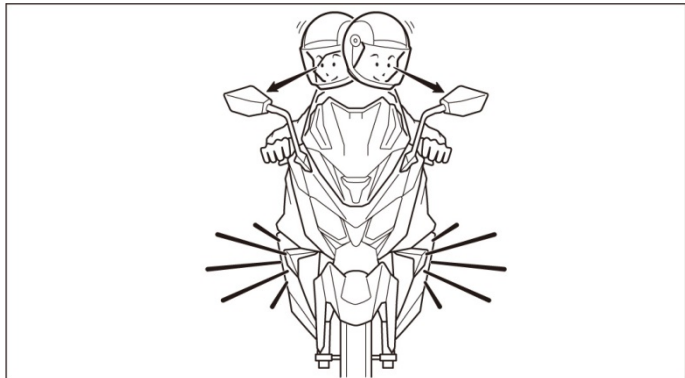
◎ Attention

- ◆ エンジンの寿命を延ばすため、暖機運転前の急加速はしないでください。
- ◆ バイクの急な発進を防ぐため、アクセルは急に回さないでください。

5 正しい乗り方

正しい乗り方

出発前にウィンカーを点灯させ、前後、後方の車の状況を確認し、アクセルをゆっくりと回しスタートさせます。



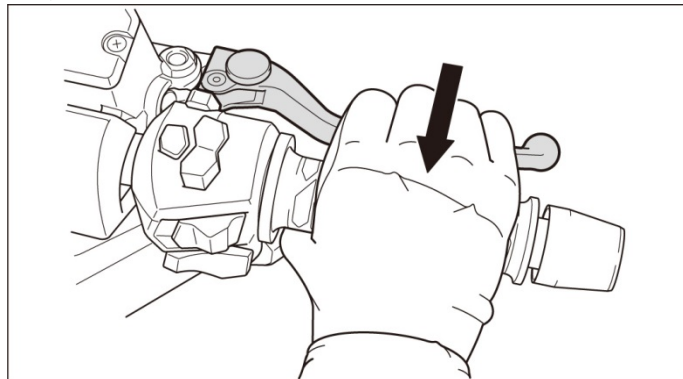
新車の慣らし運転

- ◆ 新車エンジン慣らし期間である 300 キロ(km)までは、時速 80 キロ(km/h)を保ってください。
- ◆ 急な加速は避けてください。

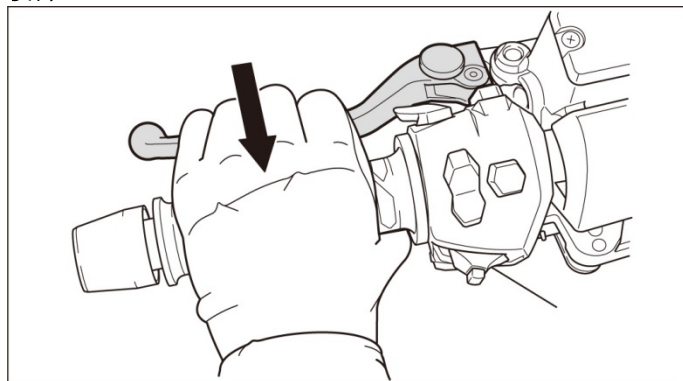
⚠ WARNING

慣らし運転期間に高速走行すると、エンジンの破損につながります。

ブレーキ 前部ブレーキ



後部ブレーキ



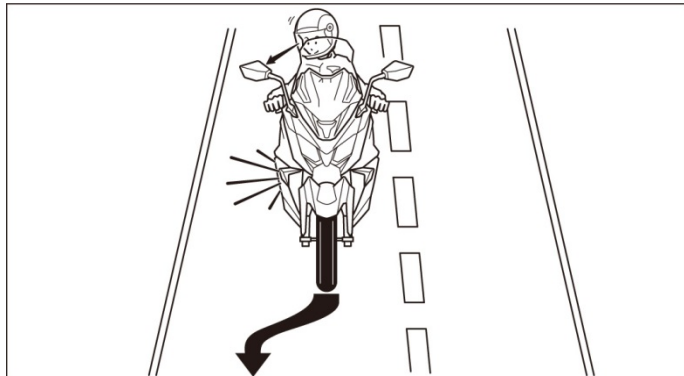
1. ブレーキを使用する際はまずアクセルを緩め、完全に切りま
す。
2. 同時に前後ブレーキレバーを握り、徐々にブレーキを作動さ
せます。

⚠ WARNING

- ◆ 滑りやすい箇所や砂利道でブレーキを使用する際は、ブレー
キの有効距離が通常より長くて難しくなります。
- ◆ 山道はゆっくり走行し、下り坂でのブレーキ操作はより難し
く更に危険になります。

急ブレーキや急回転をしないでください

急ブレーキや急回転は横転の原因となり大変危険です。



⚠ WARNING

バイクが傾いた状態でのブレーキの掛け過ぎや急ブレーキは横
滑りや転倒を引き起こしやすくなります。

雨天時には特に運転に注意してください

雨天時の路面は晴天時と異なります。制動距離が長くなるため、
速度を落とし、早めにブレーキをかける必要があります。
下り坂ではアクセルはオフの位置にし、絶えずブレーキをかけゆ
っくり運転してください。



⚠ WARNING

湿った路面や踏切。ライトレールの軌道、マンホール、工事中の
路面に敷かれた鋼板などは大変滑りやすいです。これらのエリア
を走行する際は減速し注意して通り過ぎてください。


正確な停車方法

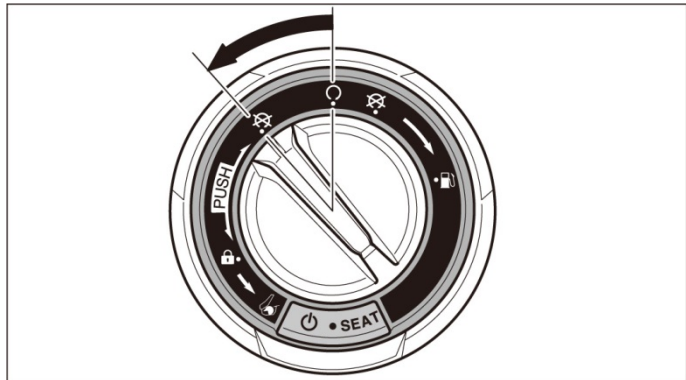
停車地点に近づいた時

- ◆ 早目にウィンカーを出し、後方に注意しつつ、ゆっくりと脇
に止めます。
- ◆ アクセルを元の位置に戻し、早めに前後ブレーキをかけ、ブ
レーキランプを点灯させて後方の車に知らせます。

5 正しい乗り方

車両が完全に停止した時

ウィンカーを閉じ、KEYLES イグニッションを「」の位置まで回します。

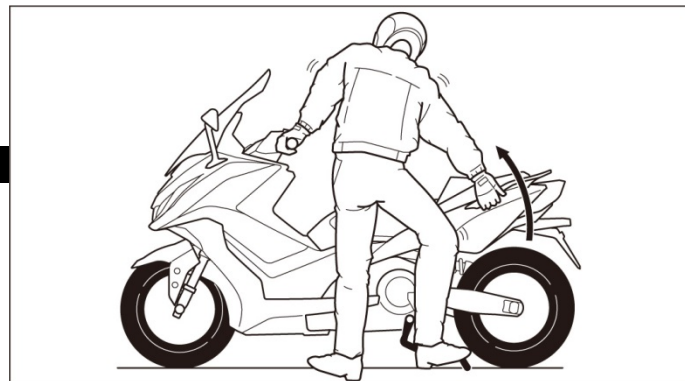


WARNING

運転中は **KEYLESS** イグニッションを切らないでください。電気システム全部がオフになり事故を起こしやすくなります。必ずバイクを止めてから操作するようにしてください。

停車時

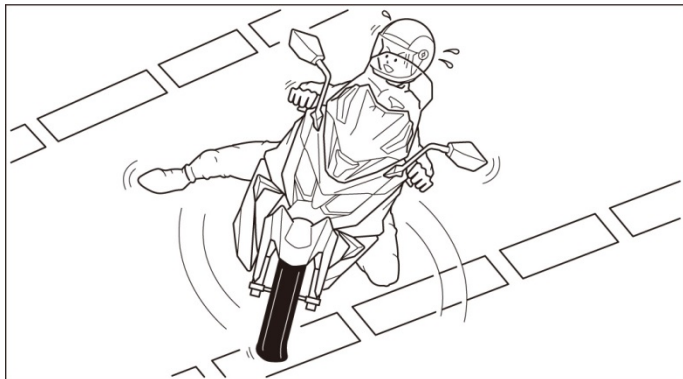
- ◆ 運転者はバイクの左側の平坦な地面に立ち、センタースタンドを立てます。
- ◆ 交通の妨げにならない平坦な場所でセンタースタンドを立てます。
- ◆ 平坦でない地面でセンタースタンドを立てると、車両が転倒しやすくなります。
- ◆ 左手はハンドルを握って元に戻し、右手でシート後方のグリップをつかみ、右足でセンタースタンドを踏みながら右手に力を入れてバイクを持ち上げます。



- ◆ 盗難防止のため、停車時はハンドルをロックし、**KEYLESS** をオフにしてください。

転倒時の処理

車両が転倒しエンジンが停止した場合、再びエンジンをかけるには、KEYLESS イグニッションを一旦切ってから再び ON にしてください。



⚠ WARNING

車両が転倒しガソリンが漏れ出ると危険なため、車両の傾斜が 65 度を超えるとエンジンは自動的に止まります。

6 走行前の点検

走行前の点検

走行前に点検する習慣を身に付けましょう

バイクの安全を保ち、効率よく使用するため、メンテナンス表に基づいて定期点検、調整し、潤滑メンテナンスをおこなってください。

排気ガス制御システムはバイクが排出するガスに含まれている汚染物の発生を抑えることができます。メンテナンス表で規定された走行距離又は時間に基づいてメンテナンスをおこない、排気ガス排出基準規定を満たしてください。

⚠ WARNING

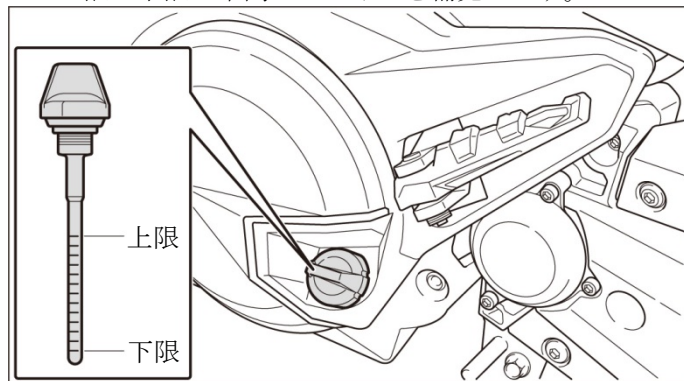
- ◆ バイクのメンテナンスに不慣れな場合は KYMCO 正規販売店にご相談ください。
- ◆ エンジン始動時は身体や衣服が触れて怪我をしたり感電したりする恐れがあります。バイクをメンテナンスする際は、エンジンをお切りください。
- ◆ やけどを防ぐため、バイクから降りた後、エンジン、マフラー、ブレーキディスク、ブレーキキャリパー、ブレーキパッドは冷えてから触れるようにしてください。
- ◆ バイクのメンテナンス時は、排気ガスによる一酸化炭素中毒を避けるため、密閉された空間でエンジンを運転しないようにしてください。
- ◆ バイクの損傷を避けるため、専門の修理訓練を受けていない人や特殊な工具を持っていない人は修理をおこなわないようにしてください。

エンジンオイルとオイルフィルターエレメント

乗車前にエンジンオイルの量が規定を満たしているか、漏れがないかを点検してください。エンジンオイルとオイルフィルターエレメントもメンテナンスと潤滑表の規定に基づき、定期的に交換してください。

エンジンオイルの点検、補給

1. バイクを平坦な地面に停め、センタースタンドを立て、KEYLESS イグニッションを起動し、エンジンを始動させます。アクセルを使用せずに約3分間アイドリング運転し、その後エンジンを切り、1分間放置します。
2. オイルゲージを抜き取り布で汚れを拭き取ります。オイルゲージを直接差込みます（ねじ込まない）。
3. オイル量を点検し、油面が下限に近付いている場合は、上限と下限の間までオイルを補充します。



◎ Attention

エンジンやマフラーは高温になっています。オイル点検の際はやけどしないように注意してください。

推奨規格オイル

規格：

SAE：10W/40 MA

API：SL クラス以上

新車は最初の 1,000 キロでオイル交換をします。以後は 10,000 キロごとに交換します。

⚠ WARNING

- ◆ 市場には劣悪なオイルがたくさん出回っており、消費者が誤用しエンジンの故障を招く場合があります。
- ◆ 愛車が推奨仕様を満たしたオイルに交換できるよう、お買い上げの KYMCO 正規販売店にて交換してください。

◎ Attention

- ◆ バイクを傾けた状態でオイル量の判断を誤ることがあります。
- ◆ エンジン停止後間もなくオイルを点検または交換する場合、やけどしないよう注意してください

ガソリンの点検と補給

- ◆ 燃料メーターが残り 1 目盛りになったら、すぐにガソリンを給油してください。
- ◆ ハイオク/プレミアム 無鉛ガソリンを給油してください。

ガソリントankカバーの使用方法：

エンジンを止めます

1. KEYLESS イグニッションを「OFF」の位置まで回し、時計の針と同方向に最後まで回すとガソリントankキャップカバーが開きます。ガソリントankキャップを開けます。
2. ハイオク/プレミアム無鉛ガソリンをご使用ください。
3. 給油キャップを戻し、しっかりはめられたことを確認し、ガソリントankキャップを確実に取り付けます。

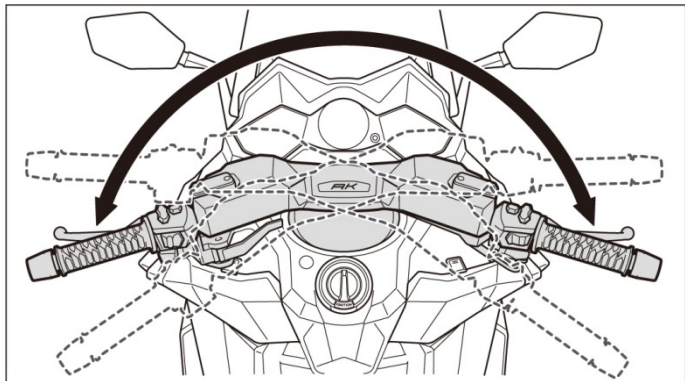
⚠ WARNING

- ◆ 給油時は火気厳禁です。
- ◆ 給油時にはエンジンを止めてください。
- ◆ ガソリンは容易にしみ出てくるので、給油する際は油面が基準を超えないようにしてください。
- ◆ 走行性能を上げるため、10,000 キロごとに「KYMCO ノズルクリーナー」を加えてガソリンのジェットノズルを清潔に保つことをお勧めします。
- ◆ ガソリントank内のガソリンが不足しているときにガソリンポンプを長時間作動させると、ガソリンポンプの正常な寿命に影響を与える恐れがあります。

6 走行前の点検

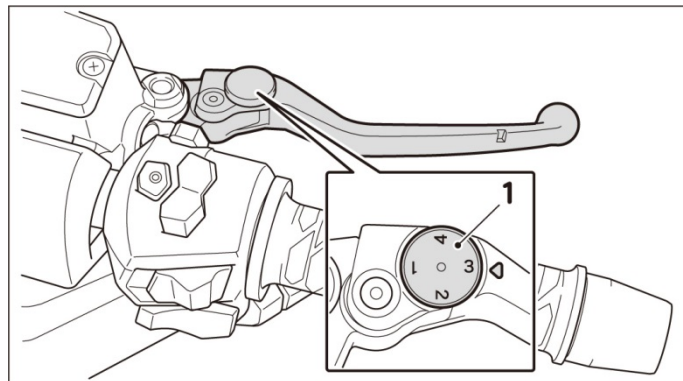
ハンドルの点検

- ◆ 上、下、前、後、左、右に動かして、ブレなどがないかを確認します。
- ◆ ハンドルがきつくないか調べます。
- ◆ ハンドルが何か当たることはないかを確認します。
- ◆ 異常を発見した際は KYMCO 正規販売店で点検を受けるようお勧めします。



ブレーキの点検と調整

1. ブレーキ調整ボタンを使用し、ブレーキレバーの距離を調整します(計4段階の調整)。
2. 調整時はブレーキレバーを前に押し調整ダイヤルを回します(初期設定値は2)。
3. 調整後ブレーキレバー(1)を、手指の間隔が快適な位置に調整し、ハンドルの先端が規定のサイズ範囲内かを点検します。

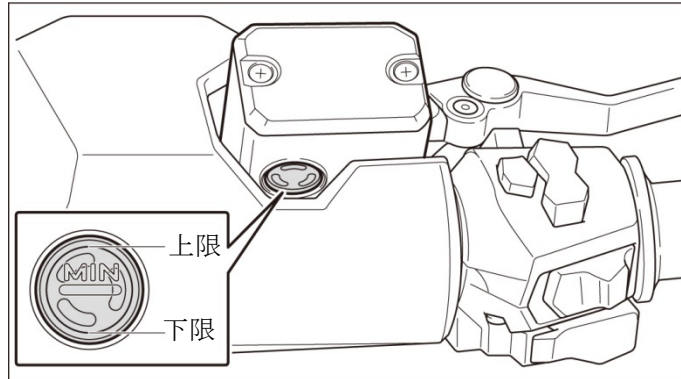


1: ブレーキ調整ボタン

前部ブレーキオイルの点検

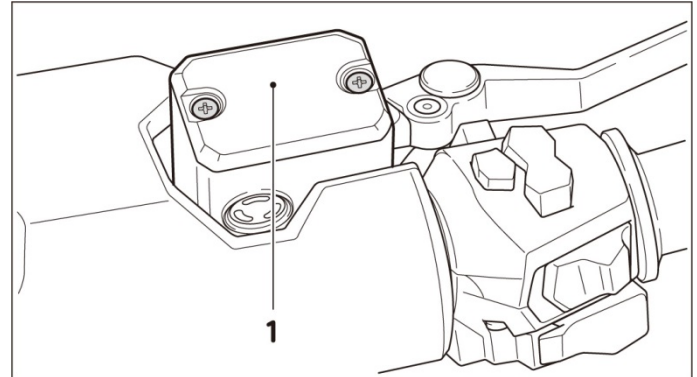
1. ハンドルを真っすぐにし、右側タンク内のブレーキオイルを点検します。上限と下限の印の間にあるようにします。
2. 油面が下限に近づいた際に、ブレーキライニングの摩耗状態を点検します。
3. ブレーキライニングが摩耗していれば、規定の限度を超えていなくても、通常オイル漏れ現象があると表示されますので、KYMCO 正規販売店で点検を受けてください。

前部ブレーキオイル点検窓



前部ブレーキオイルの補充

1. ハンドルを正し、ブレーキオイルタンクについている2本の固定ねじを外し、ブレーキオイルキャップを外します。
2. 推奨ブレーキオイルDOT-4をタンク内の上限目盛りまで入れ、オイルタンクを2本のねじでしっかり締めます。
3. ブレーキオイルは10000キロまたは1年ごとに交換します。



1: ブレーキオイルタンクキャップ

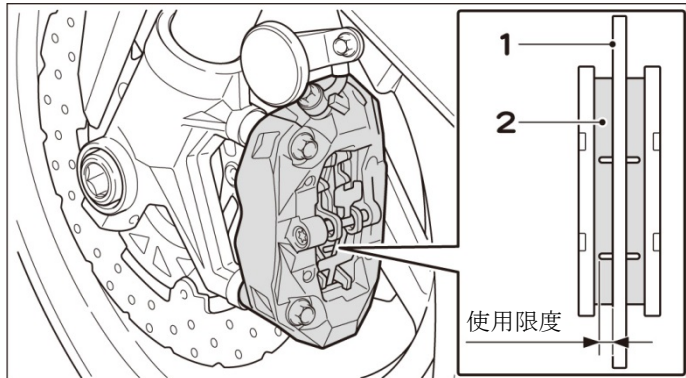
⚠ WARNING

- ◆ 異なるメーカーの異なる規格のブレーキオイルを混合使用するとブレーキが効かなくなることがあり危険です。
- ◆ ブレーキオイルの補充時には、布などで塗装部を覆い、塗装表面が痛まないようにします。

6 走行前の点検

前・後輪ブレーキライニングの点検

ブレーキライニング使用限度点検



- ◆ ブレーキ効果は良好か。
- ◆ ゆっくり前進し前後ブレーキの効果を確認します。

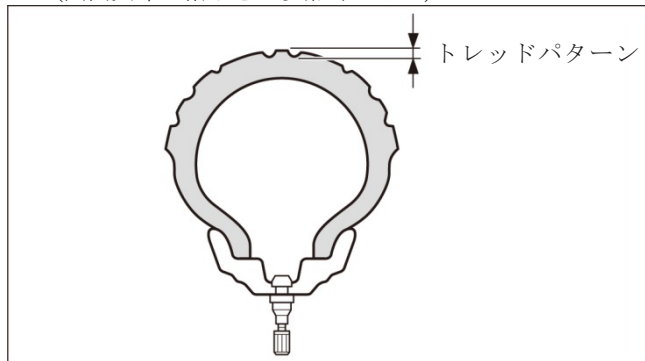
タイヤの点検

- ◆ タイヤの地面との接触状態から、タイヤ空気圧が正常かどうかを点検し、空気が不足していれば正常なタイヤ空気圧まで空気を充填します。
- ◆ タイヤと地面との接触に異常がある場合、プレッシャーゲージで圧力を点検します。

エンジン未始動時のタイヤの空気圧：

1人乗車時		
前輪	2.4 kgf/cm ²	後輪 2.70 kgf/cm ²
2人乗車時		
前輪	2.4 kgf/cm ²	後輪 2.70 kgf/cm ²

- ◆ タイヤ溝内に金属片や石などがいないかを確認し、あれば除去します。
- ◆ タイヤに亀裂がある、または溝の深さが磨耗限度を超えた場合、新しいタイヤに交換してください。
(図面矢印の指示をご参照ください)



トレッドパターン中心位置からのパターンの深さを測り、タイヤの摩耗程度が均一かどうか数ポイントを測定します。いずれかの測定値が使用限度より小さい場合、タイヤを交換してください。タイヤを交換した際は、車輪の平衡を点検し定位をしっかりってください。

使用限度

前輪 0.8 mm

後輪 0.8 mm

トレッドパターン摩耗点検

毎回乗車前に必ずタイヤを点検します。タイヤに横向きのライン(最小トレッドの深さ)が現れた、タイヤに釘やガラス片が刺さっている、もしくはタイヤに亀裂がある場合、KYMCO 正規販売店でタイヤを交換してください。タイヤのトレッドパターンの摩耗が激しいと、摩擦力が低下し、タイヤが変形し破裂しやすくなり、操作の安全に影響を及ぼします。

タイヤサイズ：

前輪のサイズ

120/70-R15 56H

後輪のサイズ

160/60-R15 67H

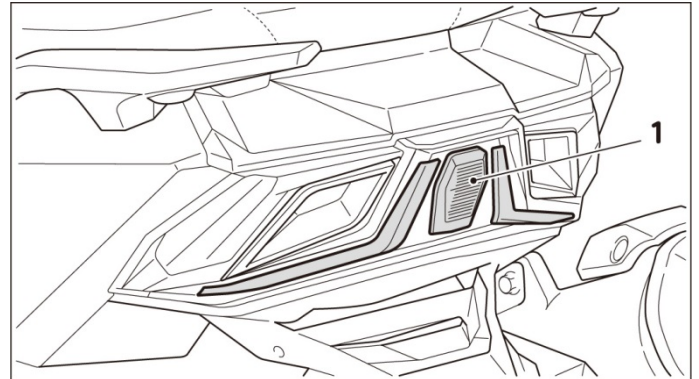
ブレーキランプの点検

- ◆ KEYLESS イグニッションを「○」の位置まで回します。
- ◆ 前、後輪ブレーキレバーをそれぞれ握り、ブレーキランプが点灯するかを確認します。

ブレーキランプに汚れや破損はないかを点検します。

◎ Attention

KEYLESS イグニッションを「○」の位置まで回しますが、エンジン始動スイッチは「X」まで回します。

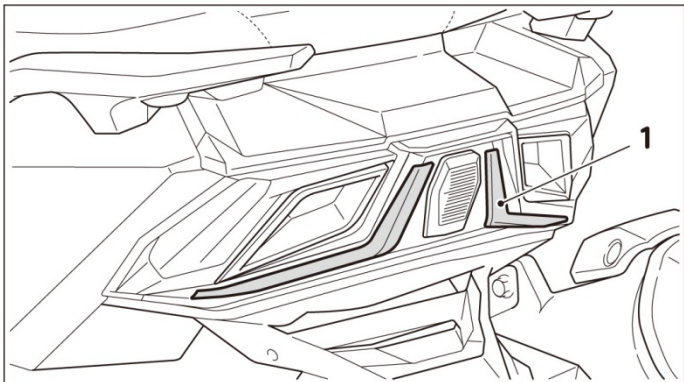


1：ブレーキランプ

6 走行前の点検

リアランプの点検

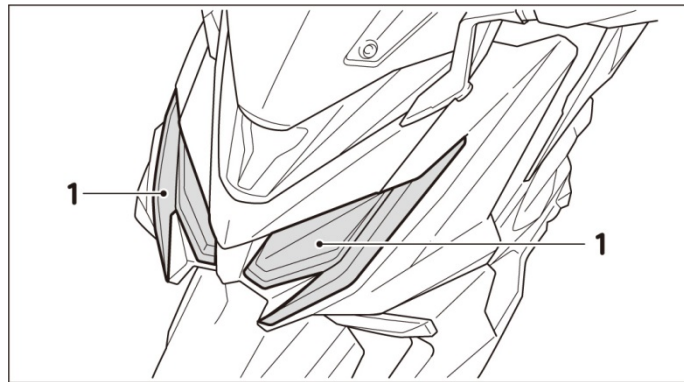
- ◆ KEYLESS イグニッションを「○」の位置まで回します。
- ◆ リアランプが点灯するか確認します。
- ◆ リアランプに汚れや破損がないか確認します。



1: リアランプ

ヘッドライトの点検

- ◆ KEYLESS イグニッションを「○」の位置まで回します。
- ◆ ヘッドライトが点灯するか確認します。
- ◆ ヘッドライトに汚れや破損がないか確認します。

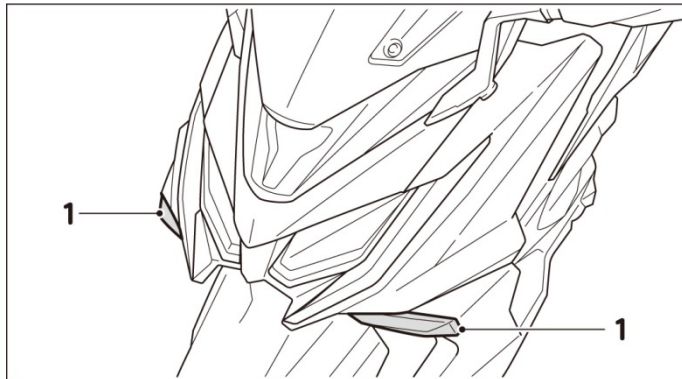


1: ヘッドライト

ウィンカーの点検

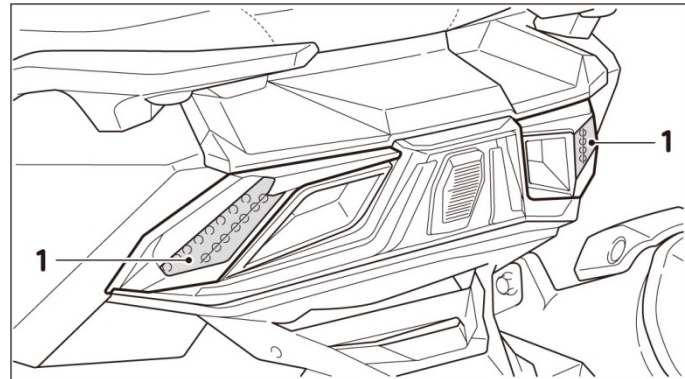
- ◆ KEYLESS イグニッションを「○」の位置まで回します。
- ◆ ウィンカースイッチを操作し、前後左右のウィンカー及び指示ランプが点灯するか確認します。
- ◆ ウィンカーが汚れていないか、または破損していないかを点検します。

前部ウィンカー



1: 前部ウィンカー

後部ウィンカー

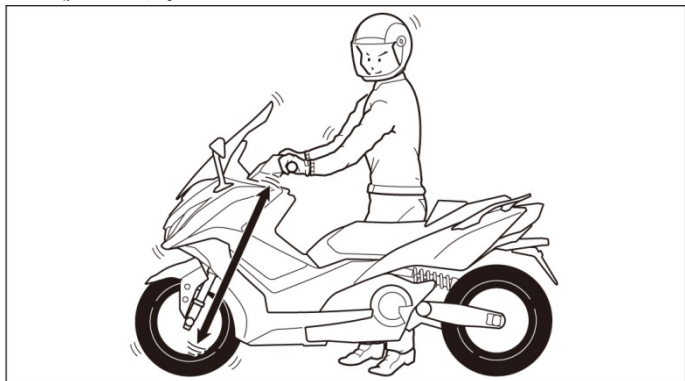


1: 後部ウィンカー

6 走行前の点検

前後緩衝装置の点検

重量をハンドルとシートにかけ、上下に動かし、作動状態を点検します。



- ◆ ヘッドライト、リアランプ及びウィンカーは点灯するか。
エンジンを始動しスイッチを入れてヘッドライト、リアランプ及びウィンカーが点灯するか、カバーに破損や汚れがないかを点検します。
- ◆ メーター表示が作動するかを確認します
- ◆ ホーンが鳴るかを確認します。
KEYLESS イグニッションを「○」の位置で開き、ホーンボタンを押します。

- ◆ バックミラーの角度は適切かを確認めます。
シートに座り後方の位置を確認し、また損壊や汚れがないかを点検します。
実際の乗車時の安全性を考慮し、規定トルク値規範は1.02-1.428 kgf-m です。よってバックミラーを車にしっかり取り付けた後は、動かないように固定します(ねじの異常がある場合を除く)。
- ◆ ナンバープレートの汚れや破損がないかを点検します。
ナンバープレートに汚れや破損がないか、確実に装着されているかを点検します。
- ◆ 排気が正常かを確認めます。
マフラーに緩みや騒音がないかを点検します。
- ◆ 過去に生じた異常がなお存在していないかを確認します。

サイドスタンド

サイドスタンドは停車時に用いるのみではなく、一つの安全機構を含み、サイドスタンドが下向きの場合、点火用電源は自動的に遮断されます。

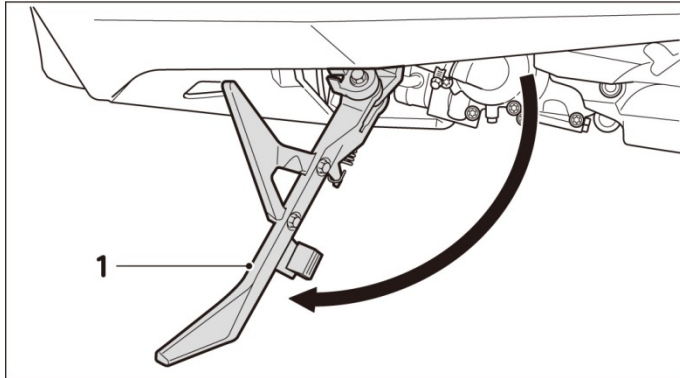
<点検方法>

サイドスタンドの自動エンジンオフシステムを点検します。

1. 平坦な場所でセンタースタンドを立てます
2. サイドスタンドを情報の位置に回復しエンジンを始動します。
3. サイドスタンドを下方の位置に向けると、エンジンが自動的に切れます。

◎ Attention

サイドスタンドに何らかの問題がある場合は、KYMCO 正規販売店で点検を受けてください。



1: サイドスタンド

簡単なメンテナンスと修理

定期点検

- ◆ 車両の安全と快適な運転のため、必ず定期点検を受けなければなりません。KYMCO 正規販売店がお客様のアフターサービスメンテナンス作業をおこないます。
- ◆ 点検時間と点検項目は取扱説明書をご覧ください。
- ◆ 車両を長期間使用していない場合も定期点検を受ける必要があります。

初回点検

新車購入から一か月または走行 300 キロ (km) 時に、点検とメンテナンスを受けてください。

注意事項

点検の結果、清掃、調整、交換などが必要である場合、定期点検記録表の説明に従って実施してください。

◎ Attention

メンテナンス時には安全に注意してください。

- ◆ 平坦な場所でセンタースタンドを立ててください。
- ◆ 適切な工具を使用して作業してください。
- ◆ エンジン停止状態で整備作業を行ってください。
- ◆ エンジンの停止後、エンジンやマフラーは高温になっていますので、やけどしないように注意してください。

7 簡単なメンテナンスと修理

公害低減定期メンテナンス一覧表

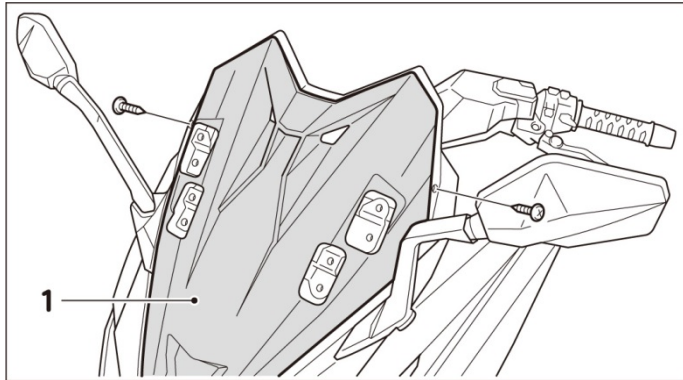
I: 点検, 必要時に清掃、潤滑、補足、修正、交換する。A: 調整する。C: 清掃する。R: 交換する。T: 確実に締める。M: 修理・メンテナンスする。D: 診断器を点検する。

定期点検表	納車からの経過 (早い方)	走行距離						
		X 1000 km						
		1	5	10	15	20	25	30
項目	納車からの経過ヶ月	X 1000 mi						
		1	6	12	18	24	30	36
* エアフィルター			R	R	R	R	R	R
スパークプラグ				I		R		I
* スロットルの遊び			I	I	I	I	I	I
* バルブクリアランス	点検/調整	Every 40000 km (24000 mi)						
* 各種ホースの点検				I		I		I
* エンジンオイル		R		R		R		R
* エンジンオイルスクリーン		C		C		C		C
* エンジンオイルフィルター		R		R		R		R
* 診断機による各種点検				I		I		I
** CVT クラッチ分解点検				I		I		I
ブレーキオイル			I	R	I	R	I	R
ブレーキパッド交換			I	I	I	I	I	I
ブレーキ			I	I	I	I	I	I
* スイッチ			I	I	I	I	I	I
ステアリング			I	I	I	I	I	I
* ライト類			I	I	I	I	I	I
* 各ボルト類締付トルク			I	I	I	I	I	I
** ホイール/タイヤ			I	I	I	I	I	I
冷却水			I	R	I	R	I	R
ドライブベルト交換						R		
ドライブベルト遊び			I	I	I	I	I	I

バッテリー点検

本モデルは、補充不要型バッテリーを採用しています。
 バッテリーにはバッテリー液を補充する必要はありません。
 バッテリー電圧の点検：
 電圧計でバッテリー電圧が 12V 以上であることを確認してください。
 電圧が低い場合はバッテリーを取り外して充電してください。

交換—カバーの取り外しと取り付け



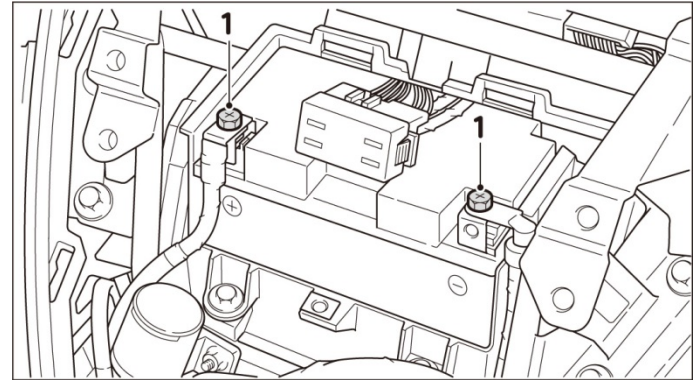
1: ウインドシールド

● Attention

シールドにはほぞやくぼみがあります。ほぞが抜けたり鋭角な部分で傷をつけたりしないよう、シールドを取り外したり設置したりする際はご注意ください。ほぞを抜いてしまう心配がある場合は、KYMCO 正規販売店でおこなってください。

バッテリーの取り外し

1. ウインドシールドの前を覆っているねじを外します。
2. ねじを取り、ウインドシールドを外します。
3. ウインドシールドの仕切りサポートを外します。
4. メーターの前カバーを取り除きます。
5. バッテリーカバーのねじとバッテリーヘッドのねじを外します。



1: バッテリーのねじ

6. バッテリーを取り外します。
 バッテリーの取り付けは、取り外しと逆の順序でおこないます。

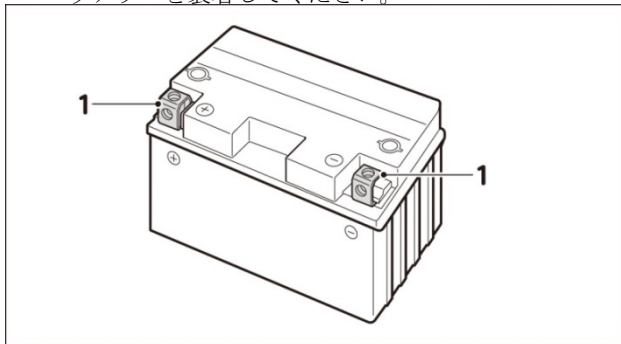
7 簡単なメンテナンスと修理

◎ Attention

- ◆ 長期間車両を使用しなくても、バッテリーは自己放電し、電力は下がっていきます。車からバッテリーを取り外し、満充電をおこなった後、風通しのよい場所に置きます。
- ◆ 長期間車両を使用しない場合は、バッテリーのマイナスケーブルを外してください。
- ◆ バッテリーの電圧が低すぎると、メーターパネルに表示されますので、必ずバッテリーを取り外し、満充電まで充電を行うか、KYMCO 正規販売店で点検を受けてください。
- ◆ バッテリーの放置が2か月を超える場合、少なくとも毎月1回点検を受け、必要により充電をおこなってください。
- ◆ 放置していたバッテリーを再使用する際は、まずバッテリーを満充電させてから取り付けてください。

バッテリー端子の清掃

- ◆ バッテリー端子をクリーニングする際は、まずバッテリー1の固定ねじを取り外してください。
- ◆ バッテリー端子に腐蝕が生じていた場合、バッテリーを取り外して清掃してください。
- ◆ 清掃後、バッテリー端子にグリスまたはワセリンを薄く塗布し、バッテリーを装着してください。



1: バッテリー端子

◎ Attention

- ◆ バッテリーを取り外した際、火気に近づけないようにしてください。
- ◆ 取り外す際は、必ず KEYLESS イグニッションを「OFF」の位置まで回します。その後マイナス(-)導線を取り外し、次のプラス(+)導線を取り外します。取り付け時はプラス極を先に取り付けその後マイナス極を取り付けます。
- ◆ 端子に緩みが発生した場合は確実に締めてください。

バッテリー使用時の注意事項:

1. バッテリーの電解液には硫酸成分が含まれており、有毒且つ危険で、不注意が深刻なやけどを引き起こす可能性があります。皮膚、眼や衣服に付着しないよう気を付けてください。バッテリー付近で作業する際は、ゴーグルをおかけください。以下の状況が発生した場合、関連する救急措置をおこなってください。
 - ◆ 皮膚への接触；大量の真水で洗い流してください。
 - ◆ 誤飲；大量の水分又は牛乳を飲み、すぐに病院へ行ってください。
 - ◆ 眼への接触；真水で15分間洗い流し、すぐに病院へ行ってください。
2. バッテリーは爆発性の水素を発生します。よってバッテリーは火気（火花、火種又は燃焼中のたばこなど）から遠く離してください。密封された空間で充電をおこなう際は、十分な換気をおこなってください。
3. バッテリーは子供が触れやすい場所に置かないでください。
4. バッテリーはフロントウインドシールドの下にあります。ウインドシールド及びメーター前カバーを取り外すとバッテリーが見えます。バッテリーが間もなく切れる場合はすぐに KYMCO 正規販売店で充電をおこなってください。バイクにオプションの電気部品を取り付ければ取り付けるほどバッテリーの消耗も速くなります。

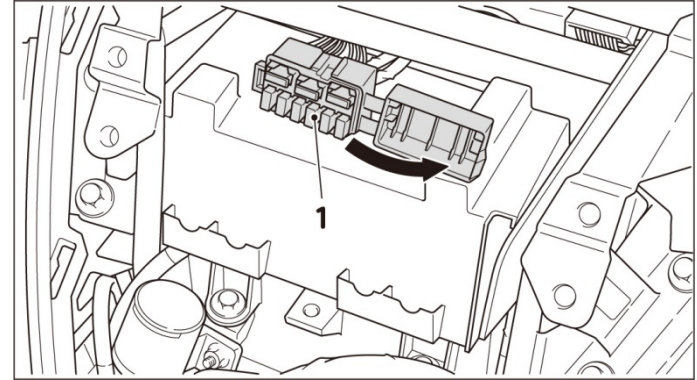
ヒューズ交換

ヒューズはバッテリーの情報にあります。バッテリーを取り外すと、ヒューズを取ることができます。

- ◆ KEYLESS イグニッションを閉じ、ヒューズが切れたのかどうか点検します。
- ◆ ヒューズ交換時には定格容量のものと交換してください。
- ◆ 交換時にはまず切れた原因を調べてから交換してください。

ヒューズの規格：

ABS IGN :	MAIN RELAY :	FAN :
5A	15A	10A
USB, GRIP, SEAT :	ECU :	BACK UP :
15A	10A	10A
LIGHT :	ABS M :	BACK UP :
15A	25A	15A



1：ヒューズボックス

● Attention

- ◆ 電装品（ランプ、メーター）の交換時には定格部品を使用してください。
- ◆ 規格に合わない場合、ヒューズが容易に切れ、バッテリーの負荷に異常が生じます。
- ◆ 洗車時はできるだけ強力な水柱で正面を洗わないようにしてください。

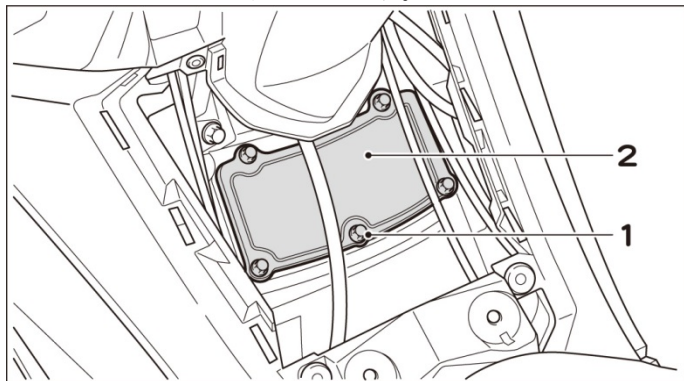
7 簡単なメンテナンスと修理

エアフィルター

定期メンテナンス表の規定にもとづき、定期的にエアフィルターエレメントを交換します。ほこりが多い環境や湿気の多い地区で乗車する際は、エアフィルターエレメントを点検、交換してください。

フィルターを交換します

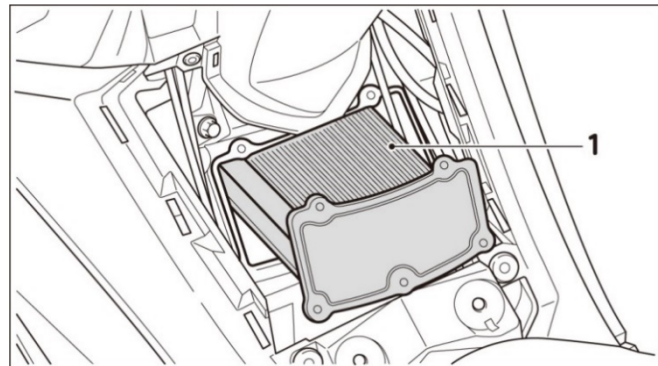
1. バイクの外キャップを外します。
2. エアフィルターカバーを外します。
3. エアフィルターカバーの固定ねじを外し、エアフィルターエレメントを取り外します。



1: 固定ネジ

2: エアフィルターカバー

4. エアフィルターエレメントを取り出します。
5. 新しいエアフィルターエレメントに交換します。



1: エアフィルターエレメント

エレメント交換時の注意事項

- ◆ エアフィルターエレメントを取り付ける際はエアフィルター内の位置を間違えないように取り付けてください。
 - ◆ エンジンが汚れた空気を吸い、エンジンの異常な摩耗が起きるのを避けるため、エアフィルターエレメントの取り付けを終えるまではエンジンを始動しないでください。
 - ◆ 洗車時にはエアフィルターを濡らさないように気を付けてください。フィルターが濡れると始動しにくくなります。
6. エアフィルターの取り付け並びに固定ねじのロック。
 7. バイク外カバーへの取り付け

Attention

- ◆ エアフィルターエレメントは紙式のものを使用し、10,000キロ走行ごとに一度点検してください。
- ◆ 20,000キロごとに定期的に新しいものに交換してください。

CVT システム用フィルター

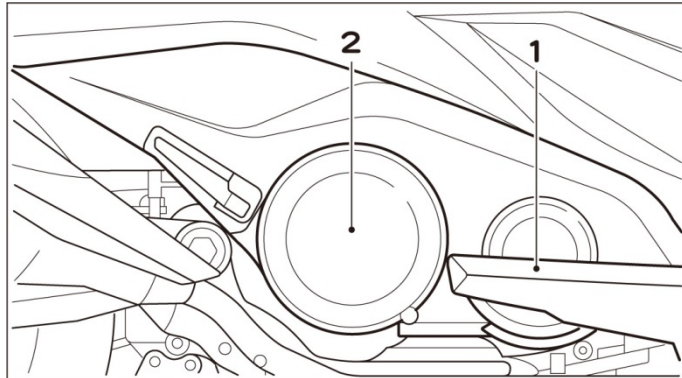
CVT 伝統システムはほこりが多く、車両に対し良くない現象を起こしますので、定期的に清掃しフィルターを交換してください。定期メンテナンス表のメンテナンス周期に基づき、5000 キロ走行ごとにフィルターを交換するかクリーニングしてください。

フィルターの交換

1. 右側パネルを外します。
2. 右側クランクケース外カバーの固定ボルトを取り除きます。
3. フィルターの2つの固定ボルトを取り除きます。
4. エアフィルターを交換します。

装着

上記と反対の手順で装着します。

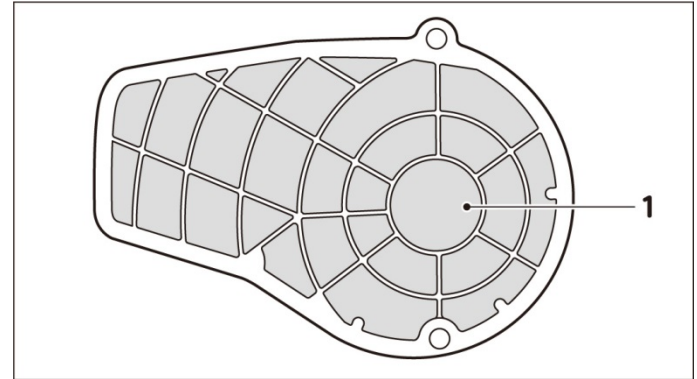


1: 右側パネル

2: 右クランクケース外カバー

清掃方法

1. 右側パネルを外します。
2. 右側クランクケース外カバーの固定ボルトを取り除きます。
3. フィルターの2つの固定ボルトを取り除きます。
4. エアガンでフィルター本体を清潔にし、右クランクケース外カバー内の汚い箇所をふき取ります。



1: フィルター本体

注意事項:

1. バッテリーと KEYLESS イグニッションが ON の状態では、接続ケーブルを抜かないでください。
2. ボルトのトルク値は 0.1~0.2kgf-m で(0.6kgf-m を超えないこと)、修理用工具で取り付けますが、きつく締めすぎるとボルトの断裂や配線の緩みを引き起こし、事故発生につながる恐れがあります。

7 簡単なメンテナンスと修理

組立後はボルトが抜けかないか、導線がシャーシに干渉して事故を引き起こさないかを確認します。

3. ユーザーまたはサービスエリア関連技術者は、マフラーの交換を行う前に、O2センサーのカプラーを抜いてください。

◎ Attention

車両を湿った環境の中(雨天や洗車...等)に置いたり運転したりすると、内外の温度差によりメーターやランプカバー内に一時的な霧が発生することがありますが、メーターの品質には問題はありません。しかしメーターやランプカバー内に大量の水滴や水たまりができた場合は、KYMCO 正規販売店でサービスを受けてください。

オイル交換

交換の時期

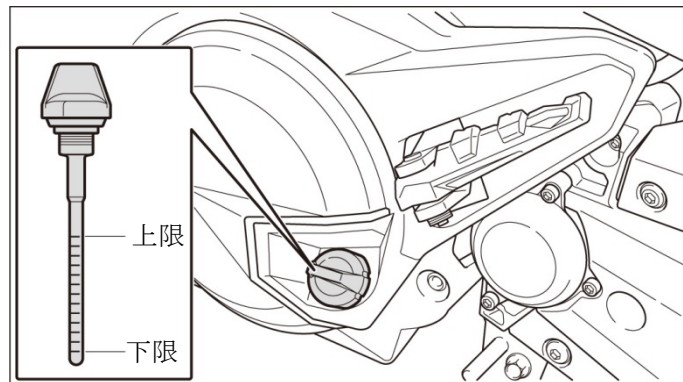
最初は 1,000 キロで、その後は 10,000 キロごとに交換します。エンジン性能を良い状態に保つため、5,000 キロごとにオイル量を点検し、不足している場合は基準量まで継ぎ足してください。

オイルの容量：

分解時：3.0L(全容量)

交換時：2.6L(オイルフィルターを含まない)

2.7L(オイルフィルターを含む)



◎ Attention

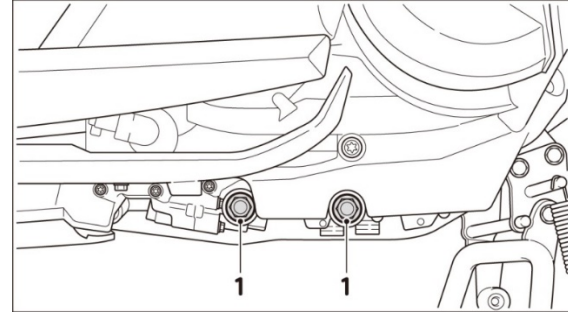
使用頻度が低く、年間の走行距離が 10,000km に満たない場合でもオイルは時間とともに劣化します。よって少なくとも毎年 1 回はメンテナンスをおこなってオイルを交換し、オイルの劣化によりエンジンの損壊を防ぐことをお勧めします。

◎ Attention

粗悪なオイルを使用することがないように、オイル交換時は KYMCO 正規販売店でおこなうようにしてください。

交換の時期

1. オイルゲージをはずします。
 - 排油ボルトをはずし、オイルをすべて排出します。
 - 暖機運転するとオイルを排出しやすくなります。
2. オイルフィルターを清潔にした後再び装着し、ボルトについたオイルはふき取ってからきつく締めます。
3. 新しいオイルを注入しますが、注入量は 2.6L とします (オイルフィルターを含める場合の交換量は 2.7L)。
4. オイルゲージを確実に締めます。
5. エンジンの暖機運転後、1 分間放置し、オイルゲージでオイルの量を確認します。



1 : 排油ボルト

◎ Attention

- ◆ 4 サイクルの KYMCO 純正オイルの使用をお勧めします。
- ◆ 下記の条件下で使用するとオイルが早く劣化しますので、早目に交換してください。
 - 頻繁に砂利道を走行する。
 - 頻繁に短距離を走行する。
 - アイドリング運転の時間が長い。
 - 寒冷地で使用する。
- ◆ オイル補充時は、オイル量の上限マークを超えないようにしてください。
- ◆ メーカー、クラス等が異なる低品質のオイルはエンジンの故障を引き起こすので混ぜないでください。
- ◆ エンジン高温時にオイル交換をする際は、やけどしないよう注意してください。

7 簡単なメンテナンスと修理

エアフィルターエレメントのトルクをロックします：

11 N-m (1.12 kgf-m)

エンジンオイル排油ボルトを規定トルクで締付ける：

9 N-m (0.92kgf-m)

マグネットスクリュートルクを規定トルクで締付ける：

28 N-m (2.86 kgf-m)

オイル交換に当たっての注意事項

- ◆ オイル量は多すぎても少なすぎてもエンジン性能に影響を及ぼします。
多すぎる場合— 運転に際して摩擦部の抵抗が増大するため、出力低下やオイル温度の上昇を招き、オイルの劣化が早まります。
少なすぎる場合— 運転時に摩擦部へのオイル供給が少なくなるため、部品の摩耗や焼き付きなどの原因となります。
- ◆ メーカーや等級が異なるオイル、または低品質のオイルを混合して使用するとエンジンの故障につながります。
- ◆ KYMCO 専用オイルは、製造過程で各種の添加剤を加えています（例：オイルトリートメント）。
- ◆ 市販されている添加剤を混合すると、油性が劣化し、潤滑性能を落としてエンジンの寿命を縮めることとなります。

スパークプラグの点検と調整

電極が汚れていたり、ギャップが大きすぎると点火しにくくなります。

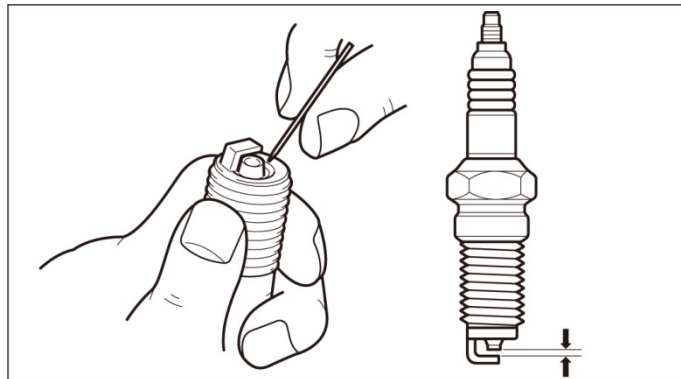
清掃方法

スパークプラグクリーナーで清掃するのが最適です。

クリーナーがない場合、ワイヤーブラシを用いることができます。

調整

スパークプラグの間隔は正常時は 0.7~0.8mm です(図示の通り)。



指定スパークプラグ

(NGK) CR7E

指定スパークプラグ以外の製品は絶対に使用しないでください。

◎ **Attention**

- ◆ エンジン停止後には高温になっていますのでやけどしないようご注意ください。
- ◆ スパークプラグを手でねじ込んだ後、プラグレンチでしっかり締めてください。

締付けトルク：

1.0 – 1.4 kgf-m

冷却水の点検

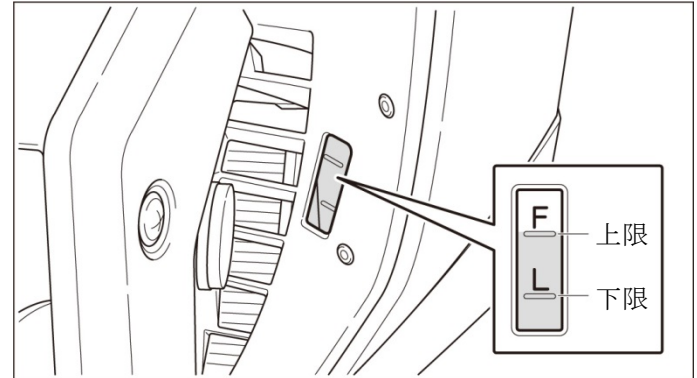
安全のため、乗車前に冷却液の液面の位置を点検し、定期メンテナンス表の規定された間隔に基づき冷却液を交換してください。

冷却水量の点検

1. バイクを平坦な地面に止め、センタースタンドを立てます。

◎ **Attention**

- ◆ エンジンの温度は冷却液量の誤判断を招きます。エンジンが冷えてから冷却液量を点検してください。
 - ◆ 車体が傾斜していると冷却液量の誤判断を招きます。
2. 予備水タンクの点検窓から冷却水量を点検します。冷却液量が上限「F」と下限「L」マークの間になければなりません。



7 簡単なメンテナンスと修理

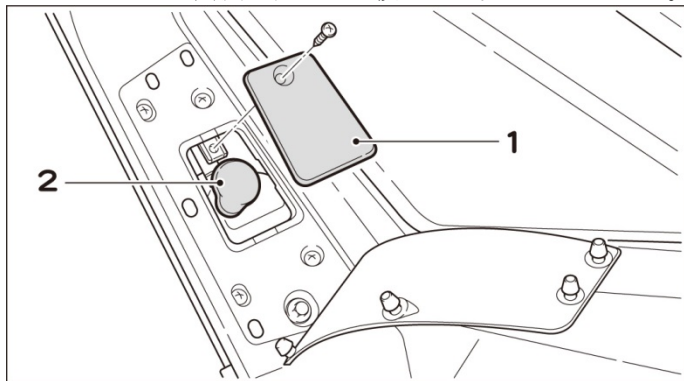
◎ Attention

- ◆ 乗車前に、水タンク、水パイプに漏れがないかを点検します。
- ◆ バイクを地面に停車させ水漏れ現象がないか点検します。
- ◆ 運転前に、水タンクのヒートシンク又は水タンク前の保護ネットに異物がないか確認し、冷却機能低下によりひどい場合は車両やエンジンの損壊を招くのを防ぐため、異物がある場合は取り除きます。

冷却水の補給（予備水タンクへの注入）

1. 平坦な場所でバイクを垂直に立てます。
2. 予備水タンクキャップ4(ねじ1本とカバー2を外す)を開け、補充冷却水を上限の位置まで入れます。

冷却水位の下降が激しく、異常現象を示した場合は、KYMCO 正規販売店にて点検修理を受けてください。



1: 保護キャップ

2: 水タンクキャップ

◎ Attention

- ◆ 運転後は水温が極めて高くなりますので、水タンクキャップを開けないでください。
- ◆ 冷却液を混ぜる際は、軟水を使用してください。
- ◆ 粗悪な冷却水は水タンクの寿命を縮めますので、特に注意してください。
- ◆ 水タンク冷却水は毎年1回又は10000キロごとに1回交換します。
- ◆ 冷却水を補充する際は、適切な比例のクーラントを加え冷却システムの性能を確保します。

故障した場合：

運転中故障した場合はKYMCO 正規販売店にて点検を受け、純正部品と交換することをお勧めします。

エンジンが始動しない、運転中に停止した場合、まず以下の項目を点検して下さい。

- ◆ ガソリンの量は十分か。
- ◆ ガソリンメーターがEエリアに近付いている場合、ハイオク/プレミアム無鉛ガソリンを補給してください。
- ◆ エンジン始動の方法は正確ですか？
- ◆ その他、異常がある部分はありませんか？

● 二輪車を廃棄する場合は？

お近くの「廃棄二輪車取扱店」にご相談下さい。
 廃棄二輪車取扱店とは(社)全国軽自動車協会連合会の登録販売店で、広域廃棄物処理指定業指定店として登録されている廃棄二輪車取扱店です。廃棄二輪車を適正処理するための窓口であり、店頭に「廃棄二輪車取扱店の証」が表示されています。



廃棄二輪車取扱店の証

● リサイクル料金とは？

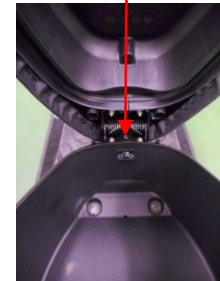
廃棄二輪車を適正な処理を行い、再資源化する費用です。二輪車リサイクルマークが車体に貼付されている二輪車はリサイクル費用がメーカー希望小売価格に含まれておりますので、リサイクル料金は発生しません。
 ただし、運搬及び収集費用は含まれておりませんので、お客様から廃棄二輪車取扱店、および指定引取所まで運搬及び収集費用はお客様負担になります。

● 二輪車リサイクルマークの取扱い

お車を廃棄する際、二輪車リサイクルマークが必要となります。マークは車体から剥がさないで下さい。

● リサイクルマーク貼付位置

トランクボックス内側、前方



● 廃棄二輪車に関するお問合せについて






















廃棄二輪車に関するお問合せは、最寄りの「廃棄二輪車取扱店」又は下記までお問い合わせ下さい。
 (財)自動車リサイクル促進センター内
 二輪車リサイクルコールセンター
 電話番号 050-3000-0727
 受付時間 9時30分～17時00分
 (土日祝日を除く)

諸元

AK 550 – SAA1AA, SAA1AC

項目	諸元	項目	諸元
エンジン型式	SAA1	ホイールベース	1580 mm
排気量	550.4 c.c.	車両重量(整備時の重量)	226 kg
シリンダー内径 x 行程	69*73.6	前輪タイヤ空気圧	120/70-R15
圧縮比	11	後輪タイヤ空気圧	160/60-R15
変速	CVT	使用燃料	プレミアム/ハイオク ガソリン
クラッチ	湿式遠心式	バッテリー容量	12V 11Ah
イグニッション	ECUフルクリスタル	スパークプラグ	NGK CR7E
始動方法	セルモーター		
オイル全容量	3.0L		
全長	2165 mm		
幅	795 mm		
全高	1450 mm		

●無線適合

	Keyless	Noodoe	TPMS
Manufacturer	Fames Technology Co., Ltd	Kwang Yang Motor Co., Ltd	Lihjoen Speed Meter Co., Ltd
CE	report 	report 	report 
FCC	in procedure	 2AM4E-37130-LGC6	 2AMA5-LJ-39600
JRF	Receiver:  [R]201-170826 Control:  [R]201-170827	 [R]005-101624	 [R]201-170813
KCC	Receiver:  MSIP-CMM-fms-38700-LGC6-00 Control:  MSIP-CMM-fms-38703-LGC6-00	 MSIP-CMM-KYm-37130-LGC6	Receiver:  MSIP-CRM-LIJ-39660-LGC6-00 Control:  MSIP-REM-LIJ-39650-LGC6-E00
NCC	Receiver:  CCAB16LP3300T0 Control:  CCAB17LP0060T2 NFC:  CCAB17LP0540T0	 CCAN17LP0260T0  CCAN17LP0261T2	Receiver:  CCAL17LP0150T9 Control:  CCAL17LP0140T6
SRRC	Receiver: CMIIT ID: 2017DJ4315 Control: CMIIT ID: 2017DJ4313	4.5 in, Moni.: CMIIT ID: 2017DJ4304 3.6 in, Moni.: CMIIT ID: 2017DJ4306	

AK 550 シリーズ使用説明書
台湾光陽工業股分有限公司
第 1 版-2017 年 7 月
版權所有



ABOUT KYMCO

KYMCO is one of the global leading powersports brands. KYMCO's mission is to create personal vehicles that win the hearts of consumers all over the world. KYMCO always goes above and beyond to bring to customers the most thoughtful riding experience for everyday life. KYMCO's current product range includes scooters, motorcycles, mobility scooters, ATVs and utility vehicles.

You can learn more about KYMCO at www.kymco.com

T300-SAA1AA-A1